



いちき串木野市 御中



ポリネコ!



2022年12月13日

概要説明資料

株式会社ハンマーバード 代表
慶應義塾大学SFC研究所 上席所員
岩田崇

takashi@hammerbird.jp

東京都品川区荏原6-2-5-5F

住民（事業者や移住検討者、関係住民も含む）と行政との継続的な信頼関係を、データやファクトに基づく意思表示を通じて構築する新しいコミュニケーション（EBPM対応）の仕組み

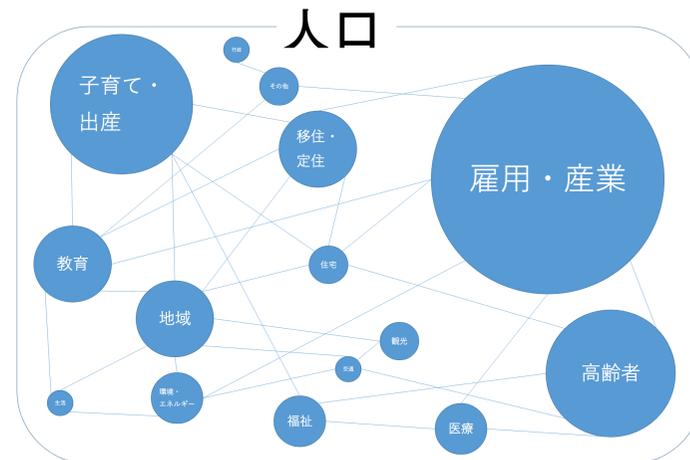
複数種の調査を継続的に組み合わせ双方向のコミュニケーションを実現

- ・ 一般的な意識調査
（アンケート（*コメント受付のような運用も可能、既存調査の置き換えにも対応））
- ・ 学習型輿論調査
（回答者が、設問で扱う事象に関わるデータやエビデンスを知り、学んで回答）
- ・ 輿論に基づく意思形成・合意形成調査
（回答者が、設問で扱う事象に関わるデータやエビデンスを知り、学んで回答し、各回答タイプに追加設問を配信して、意思形成、合意形成を行う）
- ・ 輿論に基づく議会も含めた意思形成・合意形成調査
（回答者（議会議員も含む）が、設問で扱う事象に関わるデータやエビデンスを知り、学んで回答し、各回答タイプに追加設問を配信して、意思形成、合意形成を行い、ルールや条例等の意思形成を行う）

喫緊の課題＝住民との連携＝コミュニケーション

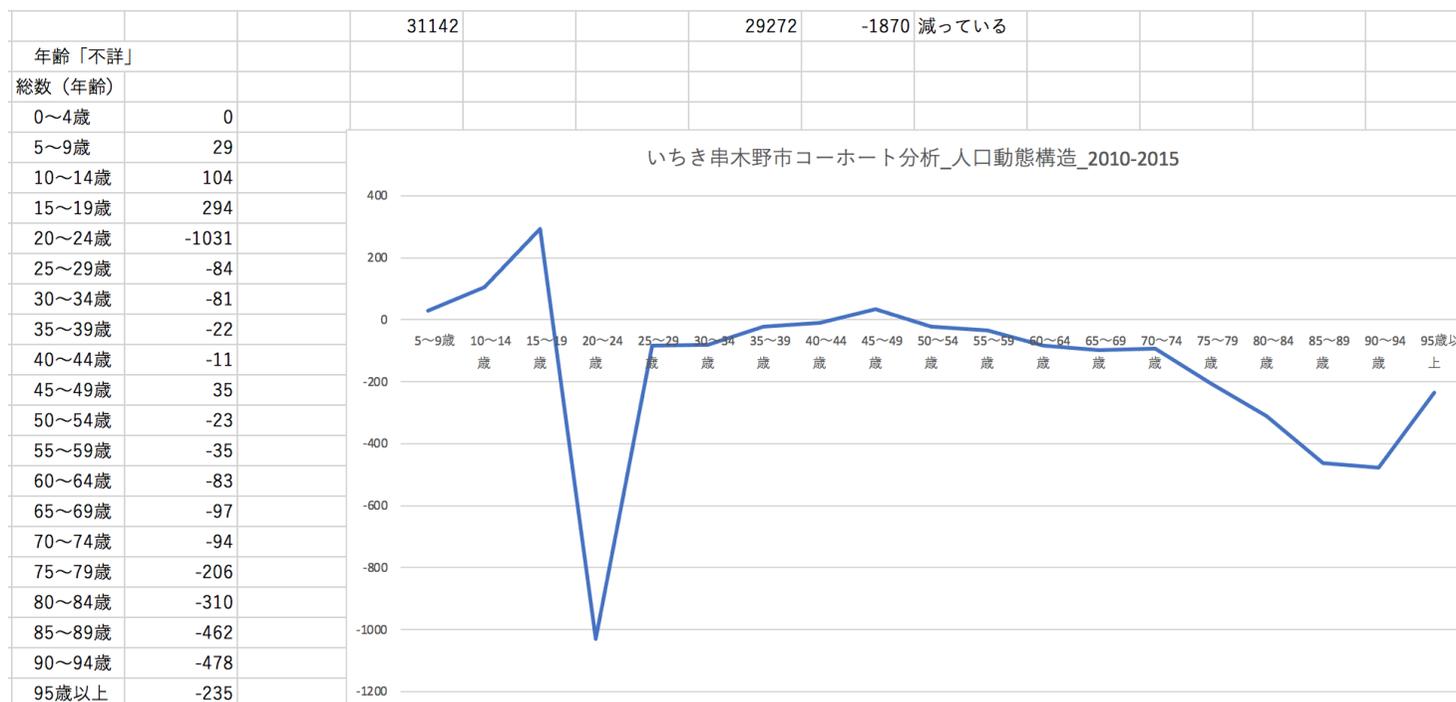
・2040年のまちを考える会資料より

- ・人口動態をはじめとするデータから見える状況は、若年層の社会流出、地域人材と雇用・産業との接続の弱さであり、付加価値を生み出す地域の力の構築が必要であるということです。
- ・個別課題として捉えると、卵と鶏の関係のようになり突破口を見つけることは困難です。しかし、個別課題をつないだ包括的な視点で捉えると、突破口と展開の順番が見えてきます。
- ・契機のひとつは「こども基本法」です。法律として子どもが地域や暮らしに意見を表明する機会の確保が明記されました。この機会を活用することで、10代とその保護者とのコミュニケーション機会をつくることができます。



※丸の大きさと付箋紙に書かれた数が比例しています

・2010-15年の人口動態コーホート分析



いちき串木野市様が目指す地域像とボトルネック

住民との「接続・つながり」が不可欠

-ほとんどの市民が市政と「非接続」状態であることを変えることが、成功する地域経営（ビジョン/共有目標）の鍵です。



住民の
スタンス

知らない
判らない
関係ない

非接続
コミュニケーション 約26,500人
* 少ないパブコメ

？

住民参画による「信頼/TRUST」が不可欠

いちき串木野市様の目指す地域像
まちを次世代に残すために地方創生に取り組もう

- ・ 住み続けられるまち
- ・ 子どもの未来を育むまち
- ・ 自慢できるまち

「2040年のまちを考える会」 (16人)

地方財政処置への
国からの
申し入れ

- ・ 「防災・減災対策及び国土強靱化の推進」
- ・ 「地方分権改革の推進及び財政の健全化」
- ・ 「国・地方公共団体間の財政秩序の確立」
- ・ 「新型コロナウイルス感染症の克服等に向けた取組の推進」
- ・ 「デジタル・ガバメントの確立等に向けた取組の推進」
- ・ (マイナンバー制度の活用、行政手続のオンライン化、地方公共団体の情報システムの標準化)
- ・ 「公共施設等の適正管理の推進」
- ・ (個別施設計画に基づく老朽化対策等)

新しい発想ができる市政・市民のための市政
戦略的に迅速に変化に対応できる市政

2020年代的課題



戦略的課題への対応



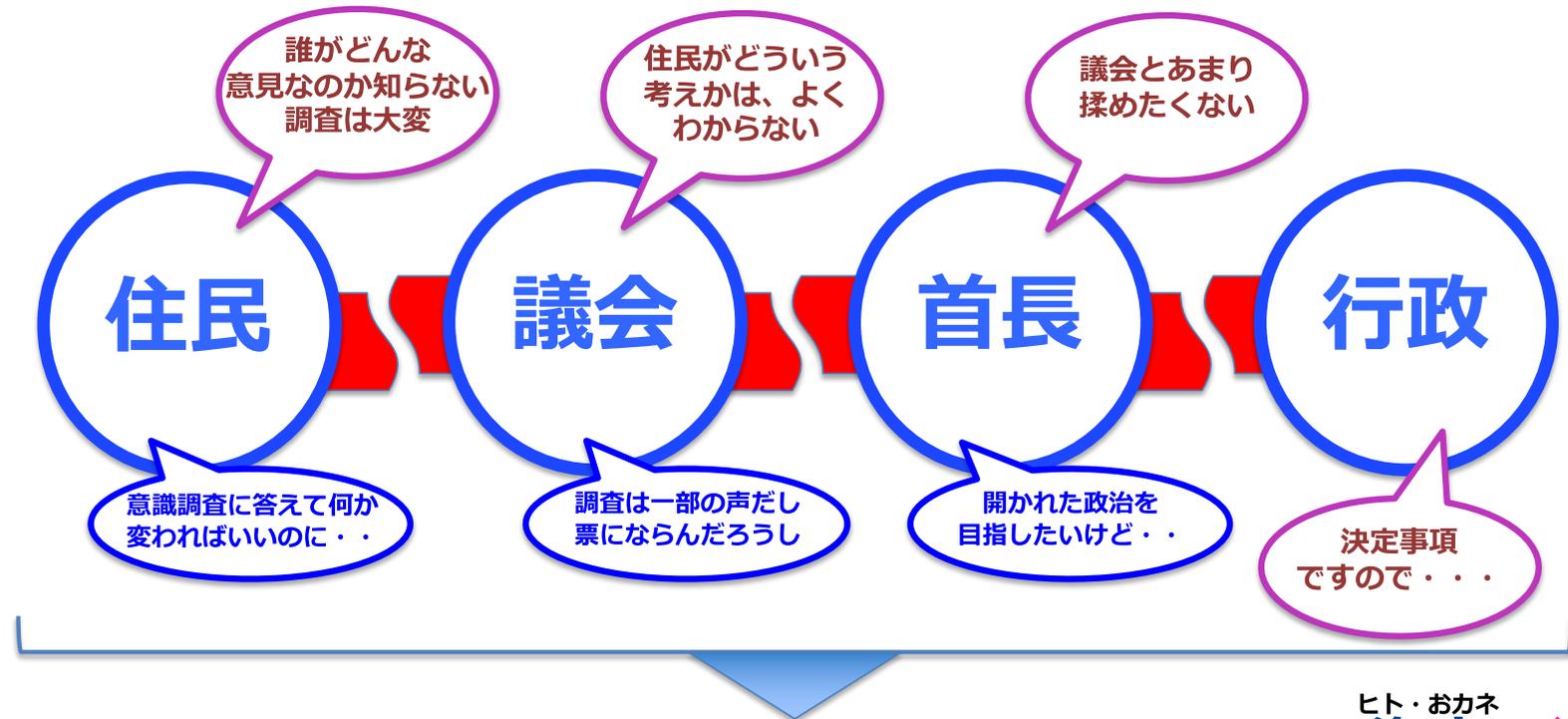
住民-議員-首長-行政の合理的断絶

無関心とコミュニケーション機能不全で、地域は行き詰まります。

都市、地方の両方で、地域のコミュニケーション環境は機能不全に陥っています。この状態でDX化、スマートシティなどの取り組みを行うと、住民の無理解、無関心から住民不在の地域経営に陥るリスクが懸念されます。そこで、「ポリネコ！」の活用を提案します。

「合理的選択によるコミュニケーションの断絶」

本当は連携すべきなのに、
連携できない私たち。



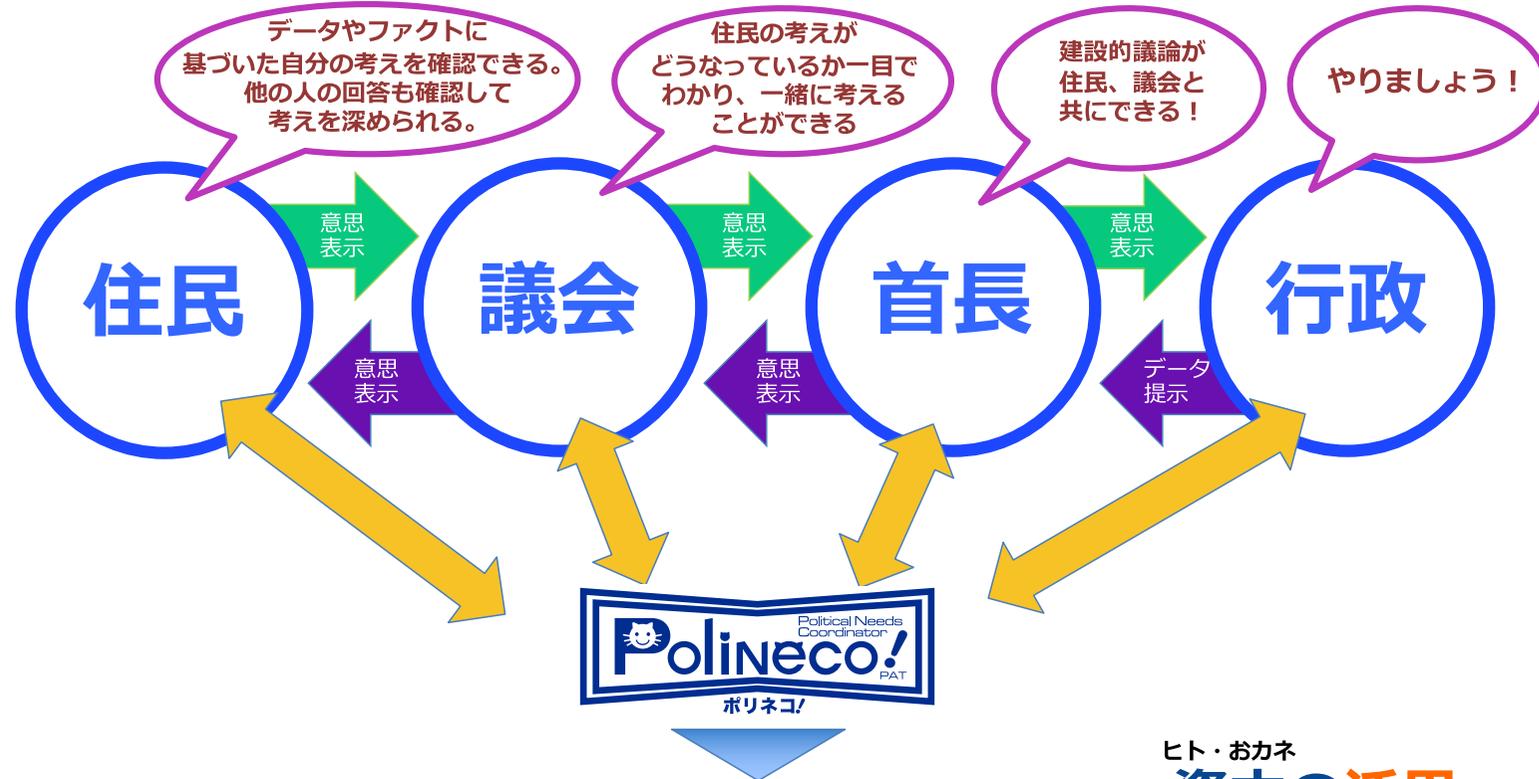
変化に対応できない地域 = ^{ヒト・おカネ} 資本の浪費 地域の衰退



による接続 = 断絶の解消

地域に関わる人を繋ぐバイパス

共通のデータやファクトに基づいた意思表示を継続的に行えれば連携が可能に。



変化に対応できる地域 = **資本の活用**
地域の発展

ヒト・おカネ

・現状

8つの検討事項（施策）を個別に実施した場合、市民からの認知が行き渡らず、心理的ハードル（実際にはどうなんだろう？等）を超えるコミュニケーションの仕掛けも不足した状態で、登録・参加およびその後の地域の活性化が結びつかない状況となる可能性が高い。施策をばらばらに行うことは、戦力の逐次投入と同様の失敗を招きやすい。

1. 若者の未婚・晩婚対策

- (1) 鹿児島県「かごしま出会いサポートセンター」への登録支援
- (2) 鹿児島市「マリーサポートかごしま」への登録支援
- (3) 民間結婚相談所への登録支援
- (4) 特定の興味・関心、趣味・嗜好による参加型イベント(出会いの機会の創出)

広報誌や掲示板で告知がすぐに登録にならない
(さまざまな心理的ハードルを乗り越えるアプローチが必要)
(結婚や出会いのニーズの在り処の確認)

2. ファミリーサポートセンターの充実

- (1) 未就園児家庭への支援サービスの充実
- (2) 提供会員の登録拡大

広報誌や掲示板で告知がすぐに登録にならない
(さまざまな心理的ハードルを乗り越えるアプローチが必要)
(ニーズの在り処の確認)

3. 放課後児童クラブの充実

- (1) 低所得者に係る利用料の負担軽減
- (2) 開設時間等の検討

広報誌や掲示板で告知がすぐに登録にならない
(さまざまな心理的ハードルを乗り越えるアプローチが必要)
(ニーズの在り処)

4. 給付型奨学金制度の創設

- (1) 地元就職時における奨学金の返済免除

中高生時代からの行政との恒常的やりとりが有効
地元企業の魅力開発が必要

5. 外国人留学生に対する支援

- (1) 外国人留学生に対する国の支援制度活用による学費補助

留学生と行政との恒常的やりとりが有効

6. 特定地域づくり事業協同組合の検討

- (1) 移住定住促進と働き手の確保

移住検討者、地元企業、市民との恒常的なコミュニケーションが必要

7. 空き家の活用

- (1) 移住定住促進と働き手の確保

空き家所有者、移住検討者、地元企業、市民との恒常的なコミュニケーションが必要(リフォームノウハウの確立)

8. 公営塾の設置

- (1) 低所得者向けの学習支援
- (2) キャリア教育・課題解決型の学習支援

広報誌や掲示板で告知がすぐに登録にならない
(さまざまな心理的ハードルを乗り越えるアプローチが必要)
(ニーズの在り処の確認)

*たとえば、公営塾の場所づくりを空き家活用のリフォームで行い、その工事（アイデア出しやペンキ塗りなどを参加型イベントにし、先生の仕事を移住に含めると1.6.7.9は連携する-連携の機会と仕組みが必要→『ポリネコ!!CHIKIKUSHIKINO』)

人口減少対策関連施策

8つの検討事項を市役所-住民間の連携（共創型）かつ、EBPM型アプローチで行うメモ

- ・そこで、全住民を対象にした住民参加型アンケート（『ポリネコ!-ICHIKI-KUSHIKINO』）を展開。いちき串木野市の現状を知り、学んでいただきながら、人口減少対策の先にある《いちき串木野像》への意思形成（目標の共有）を行い、この目標に紐づく形で8つの各施策を住民ニーズに基づきながら実施。実施中も継続的なコミュニケーションを行う（市民は市役所に意思を伝え、市役所はそれに応え、必要に応じて議会も一緒に課題解決に取り組む）ことで施策の改善、改良を柔軟に行えるようにする。

①.いちき串木野市全市民に向けた『ポリネコ!-ICHIKI-KUSHIKINO』によるアンケートアプローチ

A.《いちき串木野市像の確立》

市に関わる情報をポリネコ!の設問テーマにすることで、エビデンスを踏まえた市民およびその代表である議会の総意のもとで、《いちき串木野市の近未来》を確立。

* 2040年の会の成果を設問（参考情報）に組み込むことで、会の取り組みを全市に拡大する建て付け。

B.《個別ニーズを把握するためのアンケート》

回答者は基本的にメールで繋がる状態となるので、追加設問などで、年代、地域の他、既婚/未婚、子育て中、勉強中（進学）などの状況を確認の上、困りごと（例えば自習する場所がない等、塾に通えない、子育ての悩み）を個別ニーズとして把握してゆく。

困りごと毎に回答者のクラスターを生成し、質問を通じてキャッチボールを行う。（必要に応じてzoomの会なども検討）

* こういう制度や仕組みがありますといったコンテンツをブログで紹介する（→心理的ハードルを下げる効果）

②.いちき串木野市全市民との『ポリネコ!-ICHIKI-KUSHIKINO』を介したコミュニケーション

（地域事業者）、（小中高生）、（子育て保護者）、（結婚したい方地域で出会いがあったらなぁという方）などのコミュニティごとに、『ポリネコ!-ICHIKI-KUSHIKINO』を通じてデータや声を集め、施策への誘導、施策の改善に繋げてゆく

・対象者の例として
（地域事業者）

攻めの経営ニーズの調査

→特定地域づくり協同組合

→地元就職の機会づくり（高校生、大学生への紹介）

（小中高生）（保護者）

学習やキャリアに関わる意向調査

→公営塾

→キャリア教育、課題解決型の学習支援

→放課後児童クラブ

→こども基本法の地域実装

（子育て保護者）

子育てに関わる環境改善調査

→ファミリーサポートセンター

（結婚したい方/地域で出会いがあったらなぁという方）

出会いをつくる調査

→趣味嗜好に基づく同好の士の出会う機会創出

→県や市、民間機関への登録支援

回答を通して、地域の未来像にづくりに参画し自分の困りごとに関わる形で、施策の提案が行われるため、単純な告知よりも理解、納得して利用（登録）できるようになる。（利用後もフィードバックを市に送りやすい）

* これらで拾いきれないものあれば、新たな施策を検討する

* 調査（コミュニケーション）は継続的に行うことで、施策の改良、改善も継続的に行う。

独自の魅力開発で、新たな「人、世帯、チーム」と縁をつくる コミュニケーションプラン

2022年11月24日
ハンマーバード/慶應義塾大学SFC研究所
岩田崇

収入も、未来の展望も
両方欲しい。
地域からも受けられ
て楽しく暮らしたい。
(ワガママ?)



・現状

特定地域づくり事業の枠組みだけで、地元企業に個別にヒアリングしても、安価な労働力を求める構造にとどまってしまう。そのため、移住を検討している人達にとって、いちき串木野市は離島や地元を挙げての受け入れ体制をつくる市町村と比較して、優位性が弱い＝“移住先として選ばない選ばれない”実情がある。

・優位性をつくるアプローチ方法

地域の事業者、地域（の人々）、移住検討者の3者の思惑が重なった所に三者三方得の豊かさを生む移住が実現する。地域の事業者、地域の人々、移住検討者それぞれにアンケートを行い、その結果をさらにアンケートで尋ねることで、3者の思惑が重なる、いちき串木野市の移住スタイルを見出す。

そこで、以下のアプローチを行う。

①.地域の事業者にヒアリングを行う&アンケート

・ a-人手不足などの穴を埋めるニーズ（見込まれる売上を確実に得る）だけでなく、b-新たな攻めの事業、たとえばEコマース対応などのニーズ（いままでにない売上や環境整備を行う）が、市内にどのようにあるか調査を行う。調査を通じて、いちき串木野市の事業者1社では負担が重いが、複数の事業者の相乗り型で新たな事業、環境整備を行える可能性があるか調査する。



調査方法は、既存の統計データを分析、地域のキーパーソンへのヒアリングの上、継続的な対話、データやファクトに基づく意思表示ができる独自のオンラインアンケート『ポリネコ!』をいちき串木野版に設定。回答依頼を郵送で行い、オンラインで回答を（スマホ、タブレット、PCから）受け付け、分析することで市内の事業者のニーズを確認する。

②.地域の人々にアンケート

・ いちき串木野市市民を対象（無作為抽出者と自由参加の両方）に『ポリネコ!』によるアンケートを実施。市の置かれた現状（人口動態等）、可能性、各地の事例などへの認知を形成しつつ、どういう地域にしたいか？どういう地域でありたいか？（移住者への対応等）を尋ね、意思形成を行う。
・ 重要要素（たとえば移住や食、攻めの地域経済に関すること）は議会議員にも回答を要請することで、議会も含めた地域の意思形成を実現。（*食のまち日本一を目指すなどの目標を設定できれば、小浜市、佐伯市など全国の食のまちとのサミットを行い交流することが実現しやすくなる。）移住者を歓迎する環境であることをデータと地域の意思として示せるようにする。（ネガティブなデータに対しては課題解決を図る）
* 関係住民として移住検討者の方々にも回答参加していただくことで、住民と移住検討者が一緒に地域の意思形成に参加することも可能

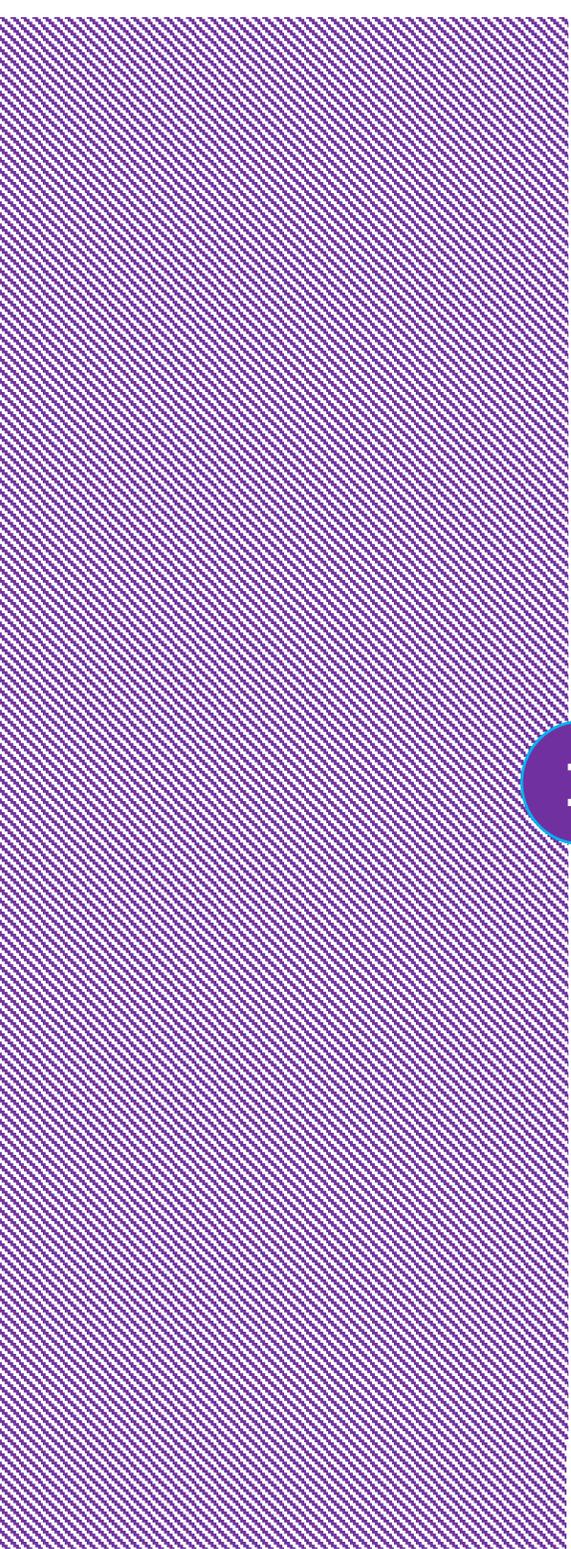
* 取り組み自体がユニークなので新聞、テレビにプレスリリース（PR）できます。
* 同じ枠組みを部活動の地域移行などの地域課題に応用することもできます。

④.移住検討者にアンケート

・ ネットリサーチ会社（マクロミル、楽天など）に直近から数年の間に移住を検討している人々を対象に、上記①②から得られたデータをもとにいちき串木野市の取り組みへの評価、定住意向を尋ねる。
この回答分析結果を基に、市内の経済環境の取り組み、地域の取り組みの具体的な改善を図る。

⑤.移住者検討者といちき串木野市（の市民、事業者）の結節点としてのウェブサイト

・ 上記①②③のデータをもとに、独自の選ばれる理由を構築。
理由に関わる地域のさまざまな情報をコンテンツとして集積したウェブサイトを開設。いつでも日本中に門戸が開いている状態を具体化する。



1.

コミュニケーションの現在-構造的弱点とは？

気分と主観で意思表示できる世論

-データやファクトを踏まない意思表示が重視される環境

・世論と輿論

メディア各社が頻繁に調査を行う

背景や関連する事象を
知らなくても主観と感覚で意思表示できる

世論

popular
sentiment
民衆感情

調査がない

背景や関連する事象を
知った上で客観性をもって意思表示できる

輿論

public
opinion
熟慮した意見

近代
知識人の
認識

外道の言論・悪論

天下の公論

現代のコミュニケーション構造に起因する弱点②

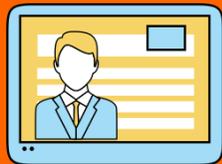
分散・希薄化するメディア接触環境

- マスメディア、ローカルメディアの機能不全
- 継続的に考える機会の不在

・現在のメディア接触環境

与党内会議（非公開）の強い影響による国会の機能不全

テレビ



- ・視聴率低下↓
- ・視聴層の高齢化

新聞



- ・発行部数減少↓
- ・1世帯0.57部↓
日本新聞協会調査（2021年）

ペイウォール（有料課金）の壁＝情報格差

世論調査



- ・知らなくても回答できる

ネット



- ・極端な意見が注目されるSNSの構造
- ・取材力の低さ



地方自治体の広報・公聴

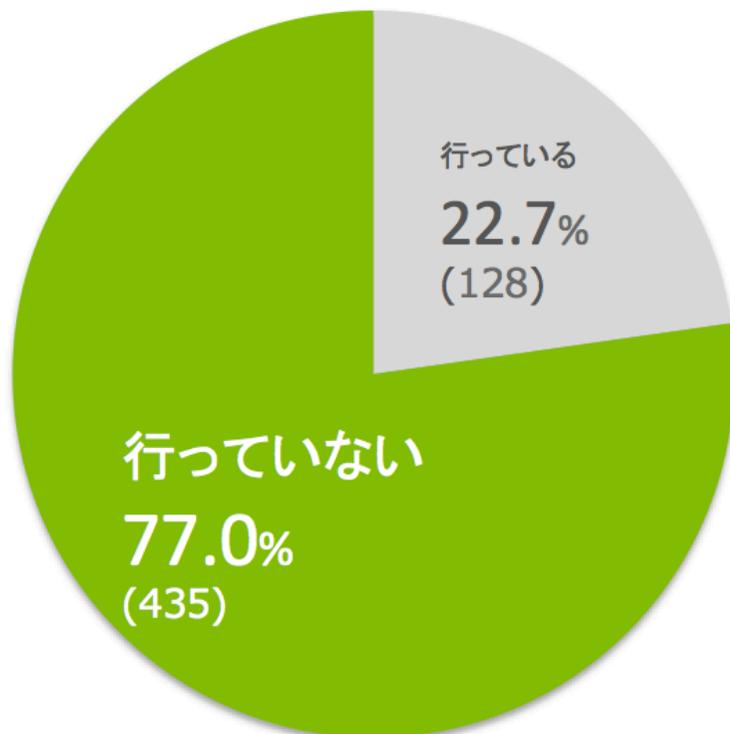
- ・約80%の市、町で効果検証なし
- ・実質的な機能不全

自治体コミュニケーションの課題 -コミュニケーション軽視と機能不全

やりっ放しで、若年層の声を聞かない

約8割の自治体が広報広聴の 効果検証をしていない

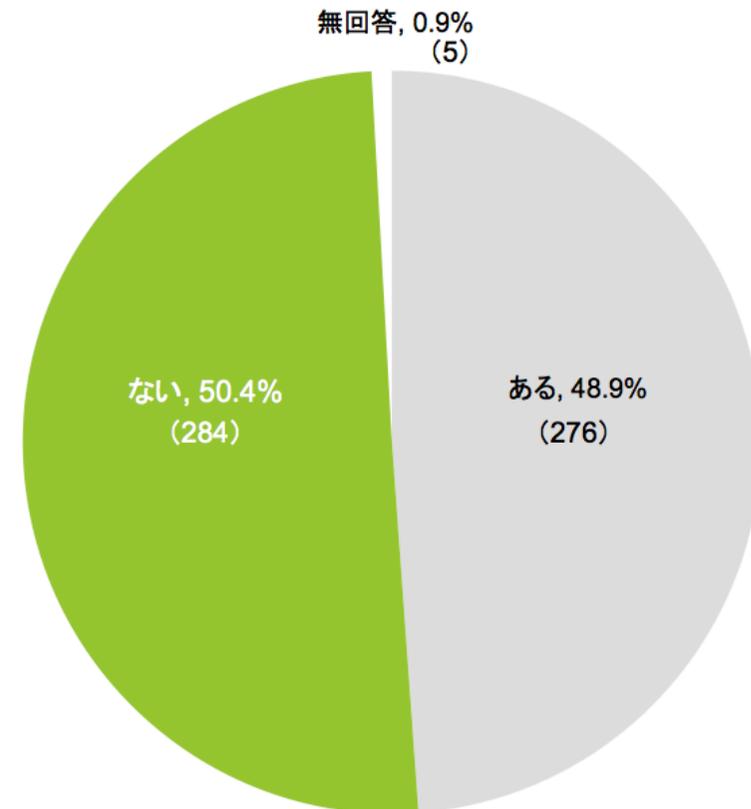
広報・公聴の効果測定を行っていますか。



- 効果検証しても非公開であったり、効果検証の内容が課題認識が曖昧なこともあり。

半数以上の自治体が 若者の声を聞いていない

選挙権を持たない18歳未満の住民の地域経営、政策形成への参加、意見表出の場はありますか。

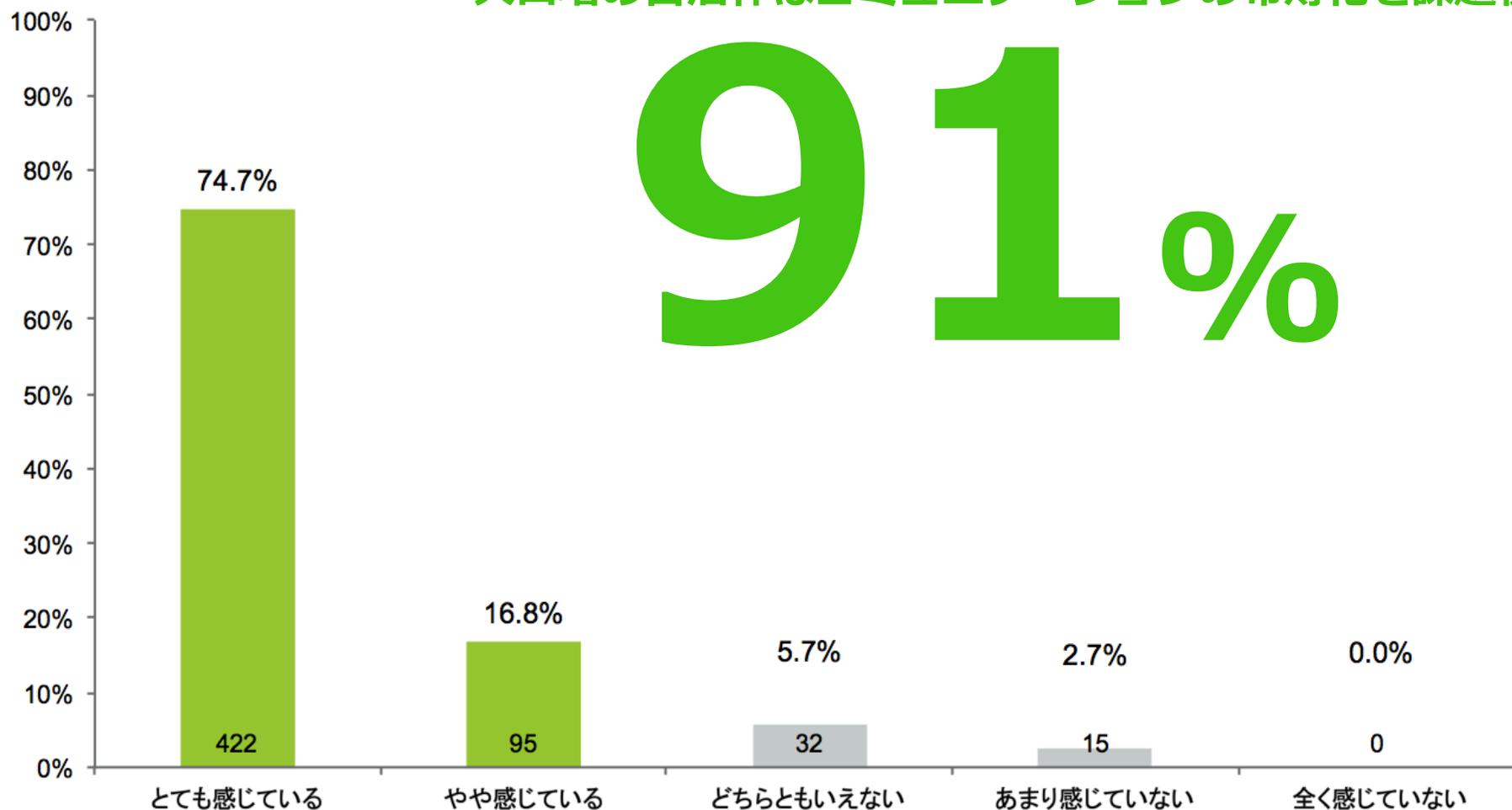


- 「ある」場合でも、予定調和な機会を以て「ある」としているケースも少なくない。
- 『自治体コミュニケーションの未来を展望する調査2019』より
デロイトトーマツコンサルティング、岩田崇共同調査

自治体コミュニケーションの課題 -コミュニケーション軽視と機能不全 そして、人口流出（地域衰退）が課題に・・・

人口流出について課題を感じていますか？

約9割超の自治体が人口流出を課題視
人口増の自治体はコミュニケーションの希薄化を課題視



『自治体コミュニケーションの未来を展望する調査2019』より
デロイトトーマツコンサルティング、岩田崇共同調査

現代のコミュニケーション構造に起因する弱点③

情報の流れが一方通行⇨であること

- フィードバックのないコミュニケーション (やりっぱなし)
 - 量で誤魔化せる、量に溺れる
- 一例：1996年から2006年の10年間で、選択情報可能量は、530倍に増加 (総務省 情報通信白書)

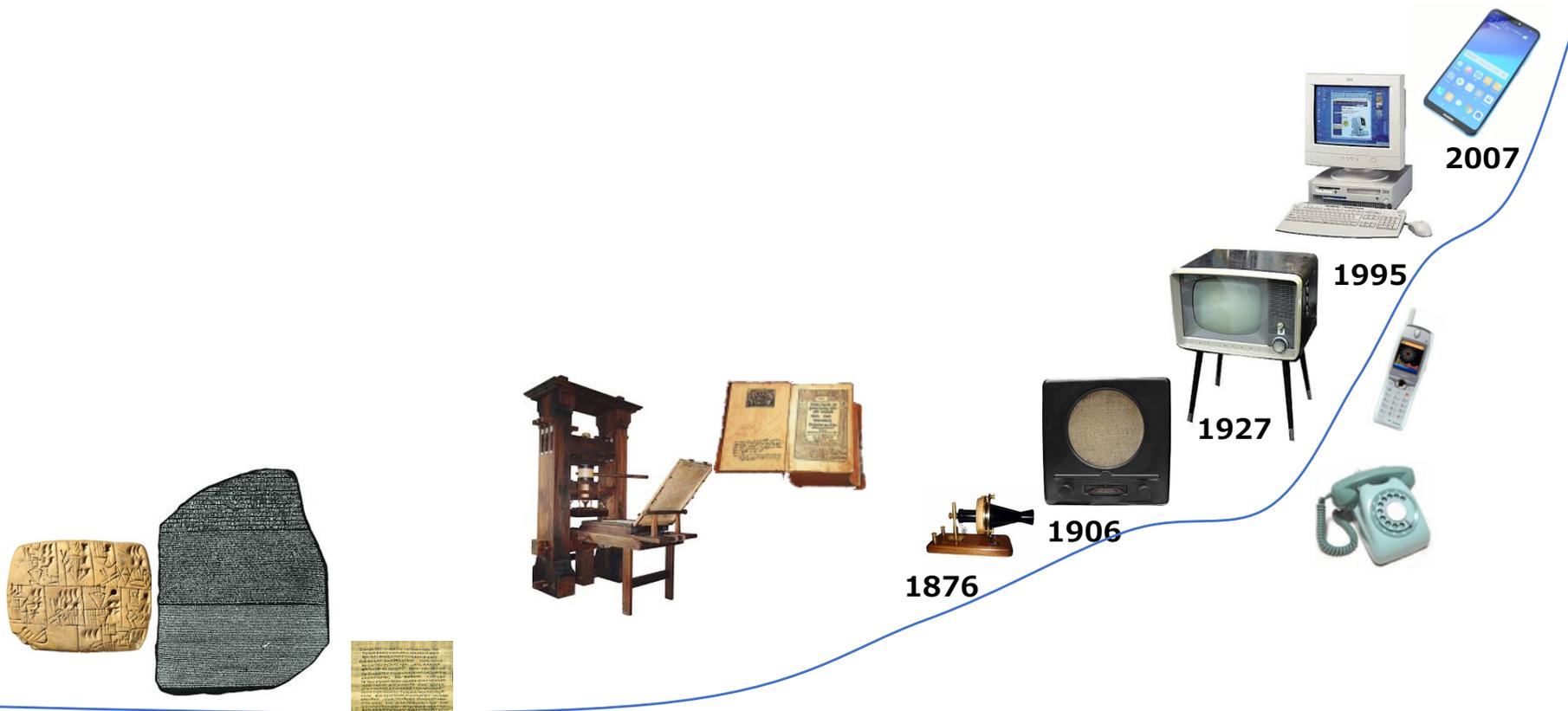
・ 5000年の人類メディア史

・ パソコンネットワーク これから

情報の構造



情報量



時間

現代のコミュニケーション構造に起因する弱点④

言葉が通じない

- 同じ言葉、単語でも捉えられ方は異なる-認知バイアス
- 捉えられ方を把握し、調整する仕組みがない

・通じているようで通じない私たち

たとえば

GIGAスクール

Global and Innovation
Gateway for All

個別最適な学びの
環境の実現



政策立案、発信者

通信量！
スマホ学割
PCやiPadのこと？



教員、保護者、児童・生徒
行政職員、メディア関係者

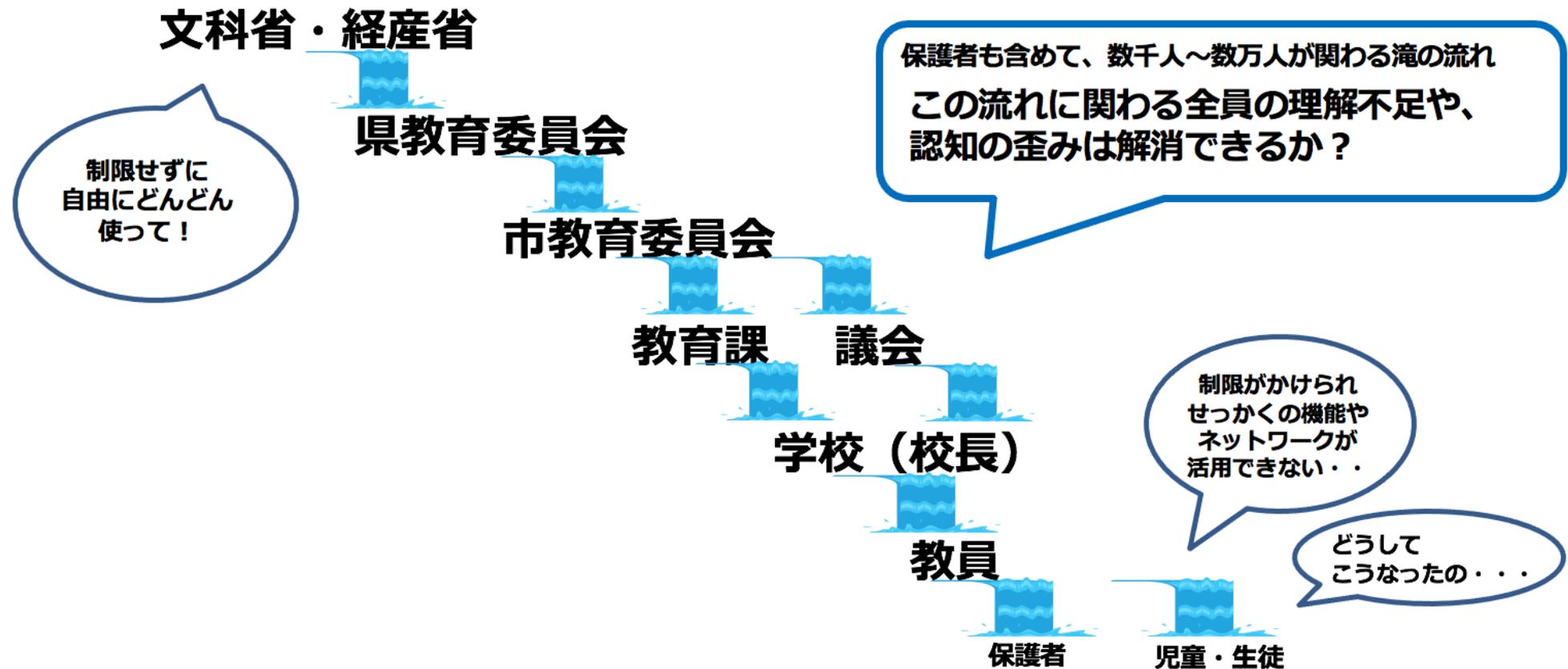
*教員の方でもGIGAの意味を知らない
ことは珍しくありません。

現代のコミュニケーション構造に起因する弱点⑤
カスケード

『信頼』を構築できない滝型構造

- 認知バイアスと無責任を生み出す合理的な構造
- 立場の上下が重視されてしまう

・行政の滝型構造（教育、GIGAスクールの場合）

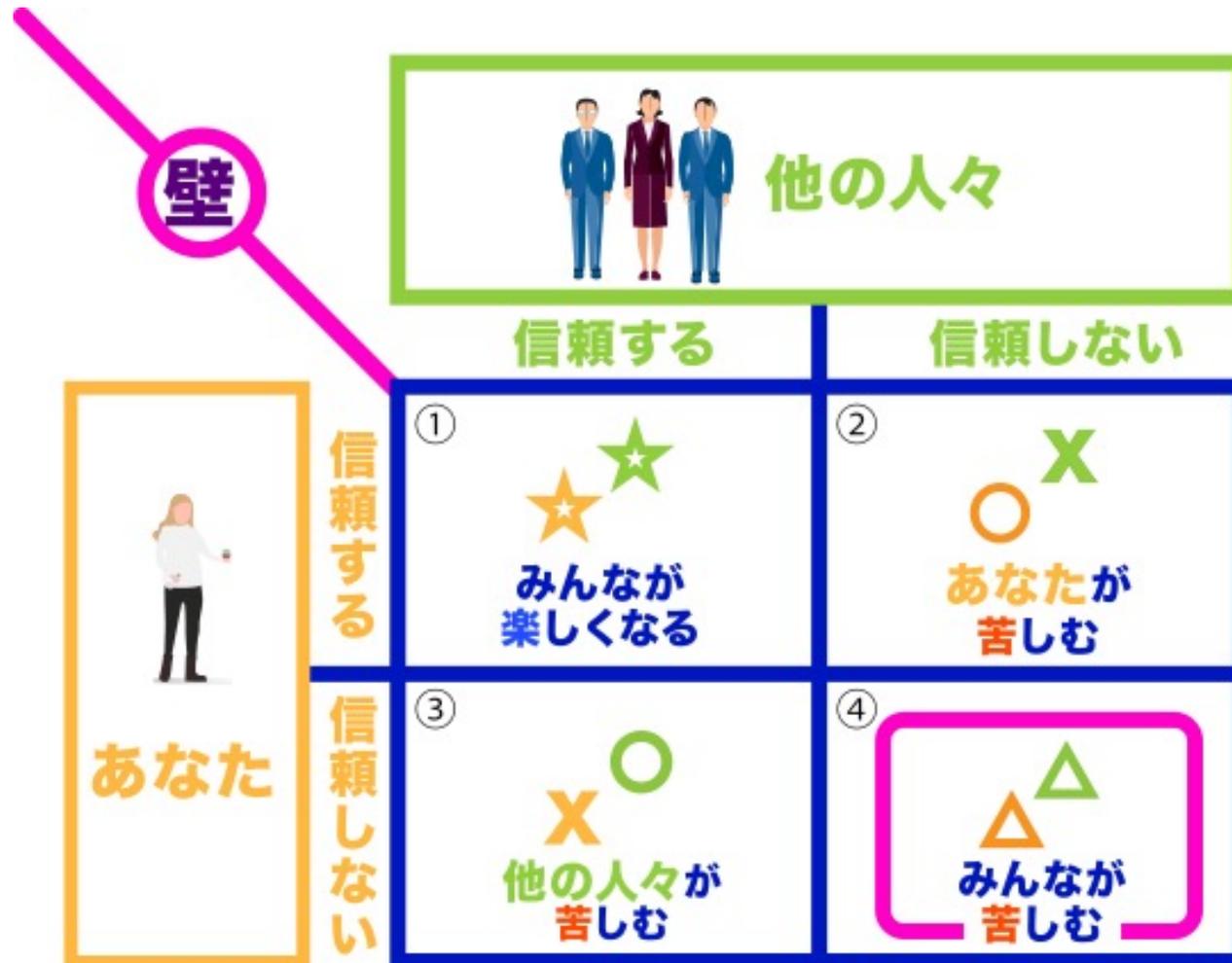


現代のコミュニケーション構造に起因する弱点⑥

『信頼』を構築できない囚人のジレンマ構造

- 協調のための手段、お互いの考えを知る方法がない
- 自分が損をしないために、合理的に④を選択する

・囚人のジレンマ図



①：協調して「最適解」を選ぶ

②③：正直者がバカを見る
：はしごを外される

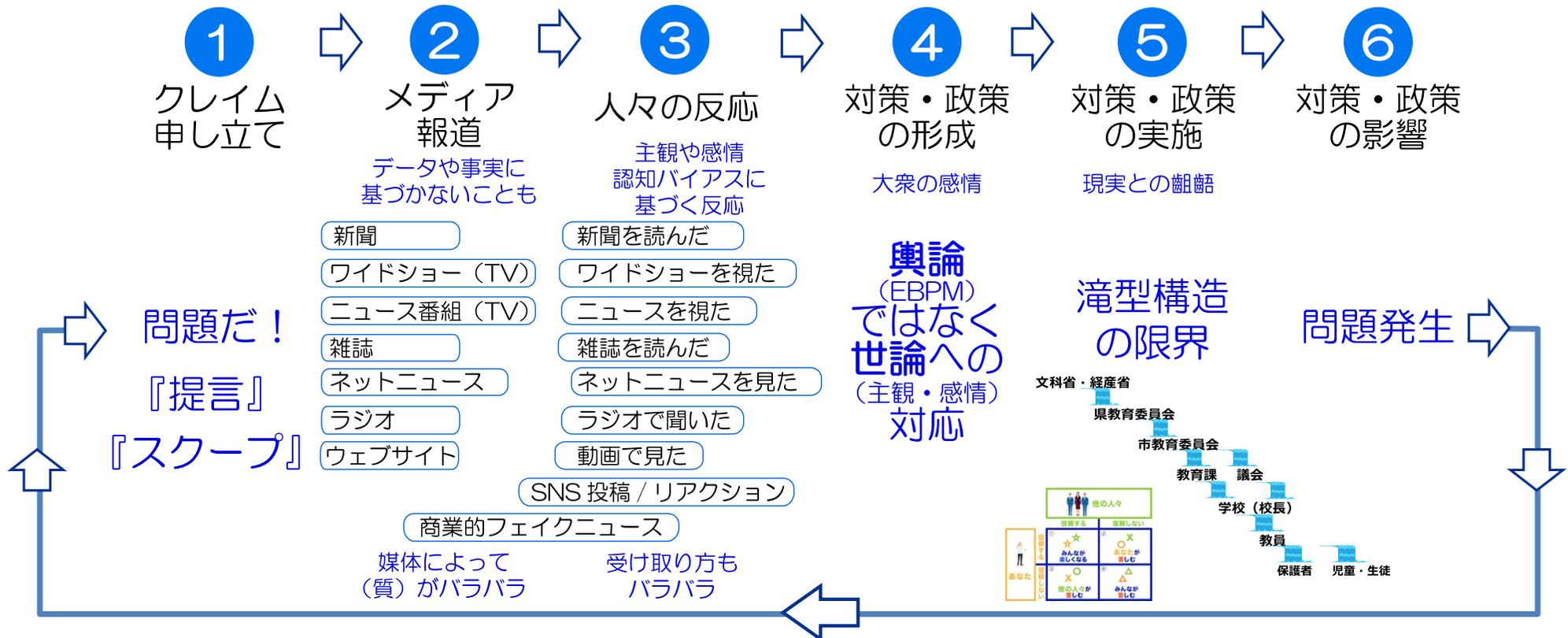
④：「苦しくなること」を
合理的に選ぶ

パッチワーク 弥縫策が繰り返される悪循環構造

国権の最高機関

- どんな知見、報道が現れても社会・国会・議会に共有されない
- 全体より、一部の支持を集めることが合理的（無関心層の発生）
- 「芯」=コンセプト、ビジョンのなく、未来に進めない環境

・ 2010年代以降のメディアコミュニケーションフロー



現代のコミュニケーション構造に起因する 7つの弱点 まとめ

①



主観、感情に基づく意思が世論、民意

②



継続的に考える機会が（ほぼ）ない

③



フィードバックのない情報の流れ

④



言葉の捉え方を把握し調整できない
認知バイアスの放置

⑤



上下関係、認知バイアスに影響される滝型構造

⑥



誰がどんな考えかわからない

⑦



パッチワークが繰り返される悪循環

現代のコミュニケーションには
データ・ファクトに
基づき意思を示し合い
議論を行う機能が
不足している

熱心な取材や紙面、番組、
webコンテンツを重ねても
不足した機能を補えない



『信頼』をつくり
共有することが
できない
-社会の劣化-

現代のコミュニケーション構造

メディアの報道、行政の広報・公聴の機能的限界

スクープも有識者会議の提言もやりっぱなし
(根本解決につながらない) になる背景



サステイナブルとは言えない
人間疎外の社会

現代のコミュニケーションに起因する社会の構造的な弱点 まとめ

戦争に進んだ80年前と変わらずデータとファクトを踏まえて考え、協調できる
-コミュニケーション手段を持っていない。



~2021
前が見えない
バックミラー社会

© IWATA TAKASHI / HammerBird 2021

現代のコミュニケーションに起因する社会の構造的な弱点 よくある質問

あれっ？

太平洋戦争敗戦後の日本は、
議論もやらずに、
高度経済成長で大成功したよね。

データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

価値観の共有による信頼/VISIONはあった？

議論せずとも

焼け野原という共通体験と、豊かになるという共通ビジョンが「信頼」として機能した



2.

データやファクトに基づく『信頼』が
重要で必要である理由

データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

信頼がなぜ重要か？

TRUST 信頼 | 共通目標

人の能力が最大限に発揮されやすくなる

中長期の視点に基づく投資、政策、施策を行いやすくなる

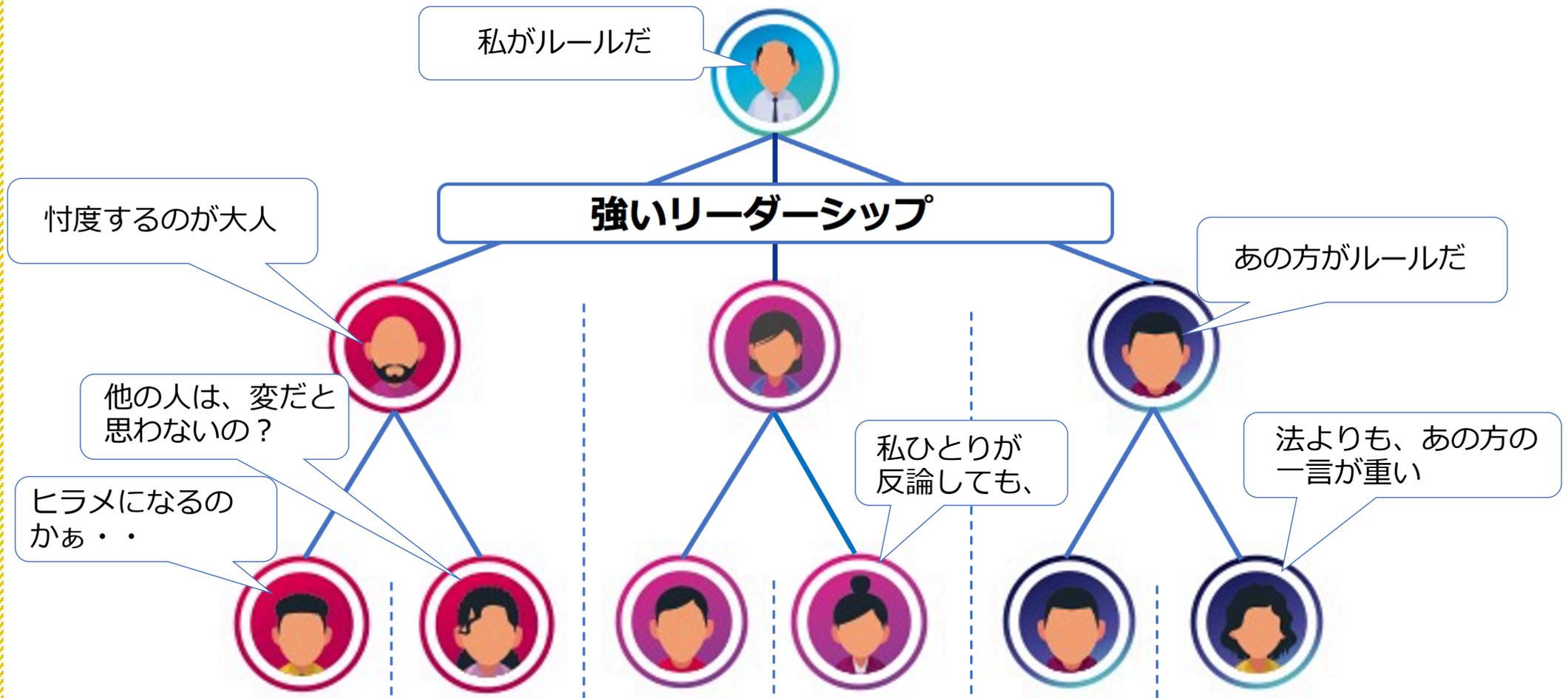
自分以外の他者を考えられるようになる（思いやり）

新しい技術、表現などイノベーションが起きやすくなる

緊急事態に利己的な行動が抑止され、全体最適を実現しやすくなる

リーダーシップ 属人的統治の限界

強いリーダーシップ（カリスマ）は権力の集中による強力なマネジメントが可能ですが組織コミュニティ内に信頼関係が生まれにくく、忖度を生み、人々の思考を停滞させ、イノベーションも阻害されるリスクがあります。

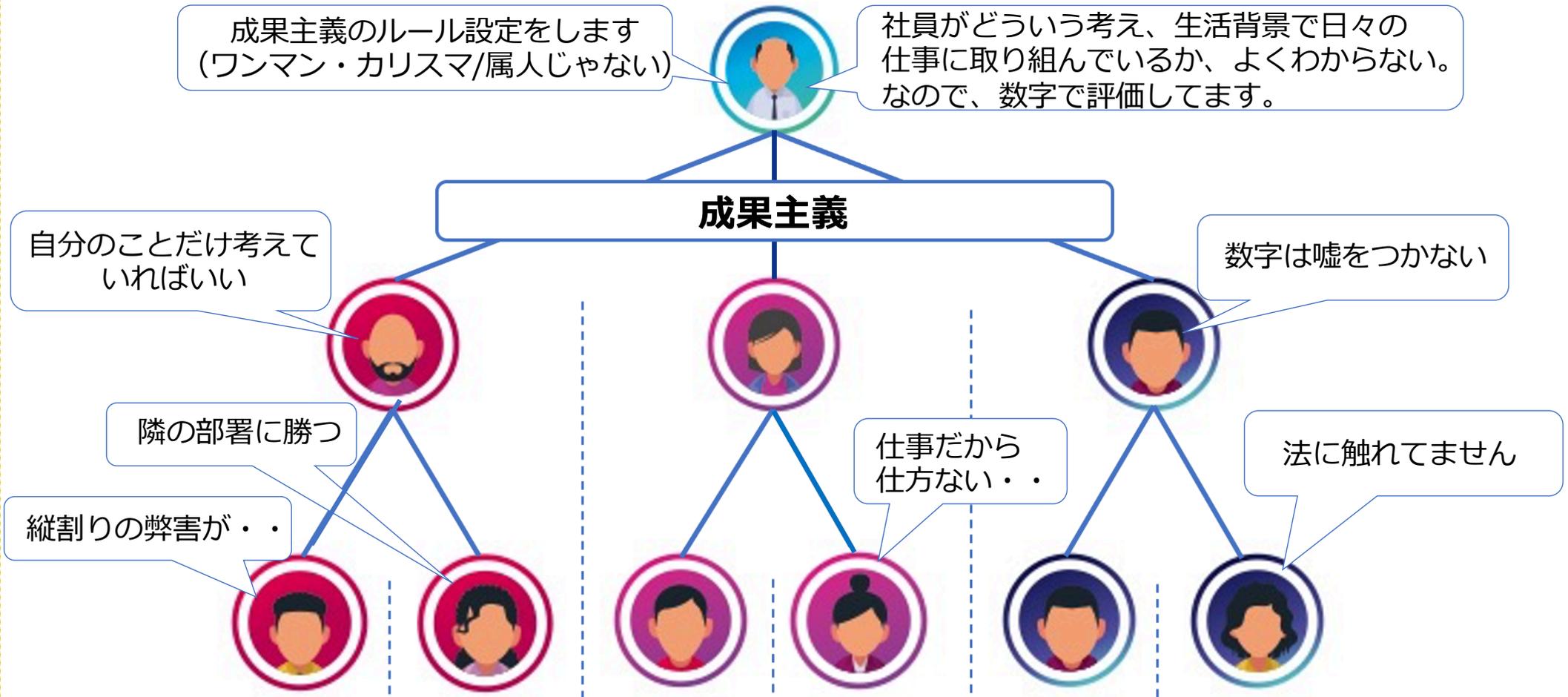


成果主義

数値やデータによる統治の限界

一方、数値やデータを重視するマネジメントでは、属人的経営の弊害はなくなるものの、目先の数値やデータに人間が従属することで信頼関係が生まれにくく、人々の思考停止、イノベーション阻害のリスクが生じます。

(数値の基準を決めるプロセスに新たな属人的弊害が生じることもあります。)



データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

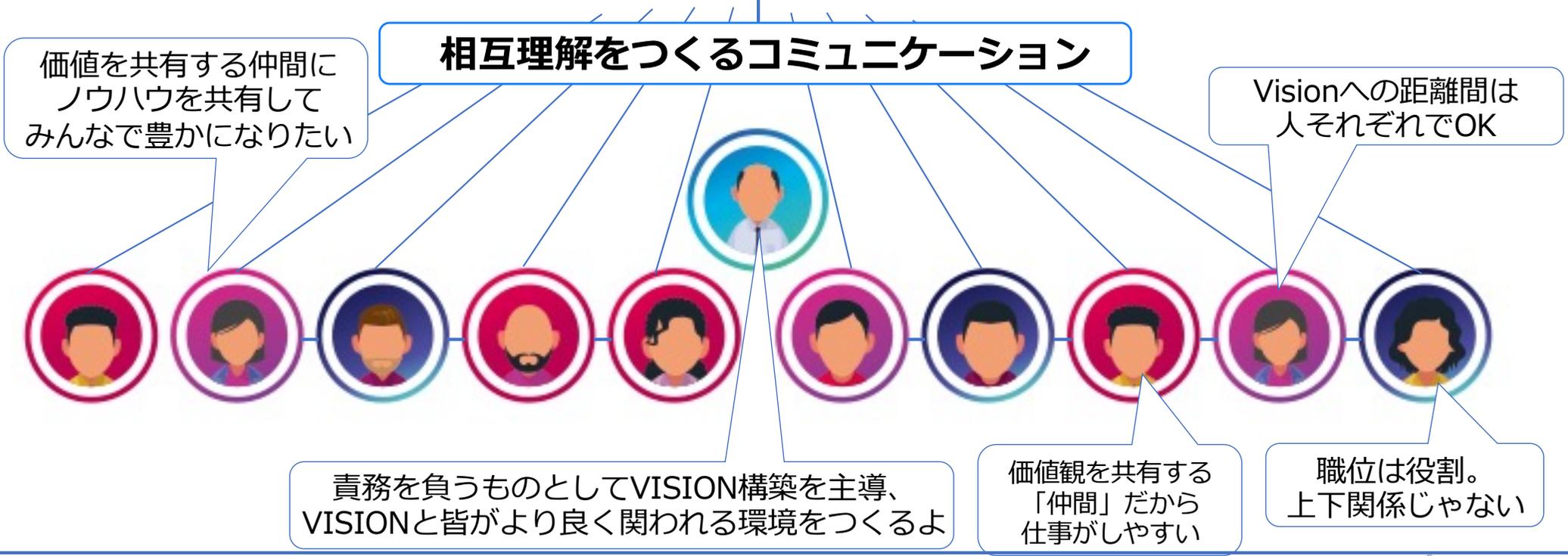
属人的統治、数値やデータ経営の統治を超える 共通目標による統治-VISOIN DRIVE-

データやファクトを踏まえながらどう暮らしたいか？という意思表示に基づき価値観の共有、把握ができると『信頼』に基づく社会、コミュニティのガバナンスが実現できます。信頼を基礎として、思考の活性化、イノベーションが促されます。

(同時に属人的経営や成果主義の弊害を最小化)

VISOIN

共通の価値観に基づく目標=信頼



データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

信頼の重要性

「信頼」を形成、運用できずに、失敗を重ねてきた歴史



> 基本的人権、国民主権という発明

日本における普通選挙のある社会運営の開始 >

1928

第1回普通選挙
「一等難しい宿題」
柳田國男

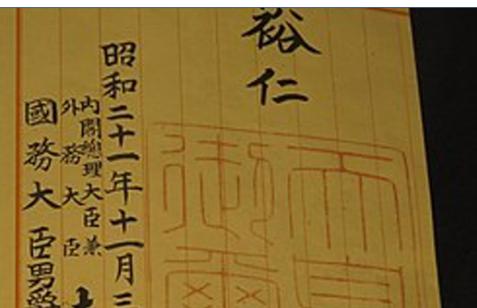
> 社会運営の失敗、破綻



国民主権が明記された日本の誕生 >

1946

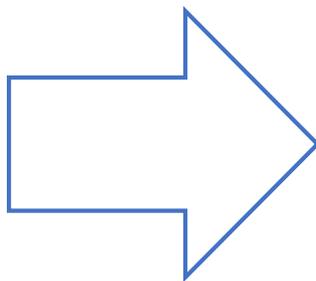
日本国憲法における
国民主権の明記



データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由 いままで信頼をつくれなかった理由

分散、拡大した主権を繋ぐ仕組みのデザインが必要だが、対応する存在、機関がない
この仕組みのデザインがないと・・・民主制であっても属人的、忖度の権威主義に

主権
1名・独占所有



国民主権
数千万から億人・分散所有



データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由 いままで共通目標をつくれなかった理由

- 同じ国、同じ言語に暮らしていても「壁」が各所に存在する。
- 「壁」を超えること = 信頼をつくる仕組みのデザイン



社会にビジョンが共有されない
政治-国民間で『信頼』が育まれない

この状態のまま迎えようとしているのが

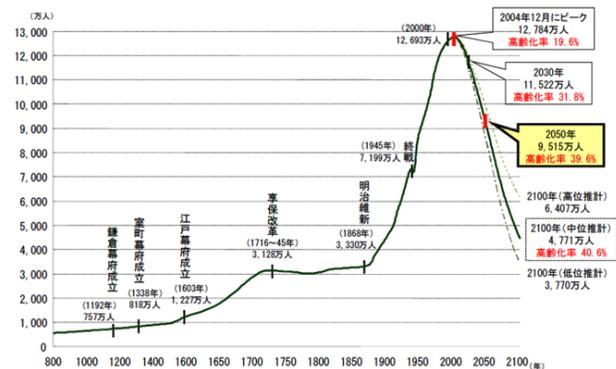
データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

信頼が最も必要な歴史的局面-これからの数年-

- 精緻な社会運営には『信頼』の確立と共有が極めて重要
- しかし、『信頼』をつくる手段はとても脆弱な状態

日本社会の状況

- ・有史以来初めての急激な人口減少局面への対応
- ・データやファクトに基づく精緻な議論と信頼できる最適解の共有が必要



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

政府が目指す社会

- ・経済発展と社会課題解決の両立する人間中心の社会



Society 5.0

DX対応

デジタルトランスフォーメーション

地方に求められる地域経営

- ・削る = 合理化、改革の限界
- ・持続できる地域のためには、住民と行政との「信頼」が不可欠
- ・住民との信頼をもとに未来に向けた投資的取り組みが可能に

これからの地域経営の考え方

地域の持続可能性には、コミュニケーションが重要

【コミュニケーション】
住民の理解、納得、参画
職員の理解、納得、参画

地方自治法
第2条14項
地方公共団体は、その事務を処理するに当っては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない

(アウトプット)
得られる効果
投入する資源
(インプット)
人件費の削減
事業費の削減
労働時間の削減など

持続可能性
(信頼)
民主的にして
能率的な行政の確保
(地方自治法 第1条の2)

【行政改革】

GIGAスクール

(Global and Innovation Gateway for All) × 個別最適な学び × 持続可能な社会の創り手をつくる教育体制 (学習指導要綱)

DFFT (Data Free Flow with Trust (信頼ある自由なデータ流通))

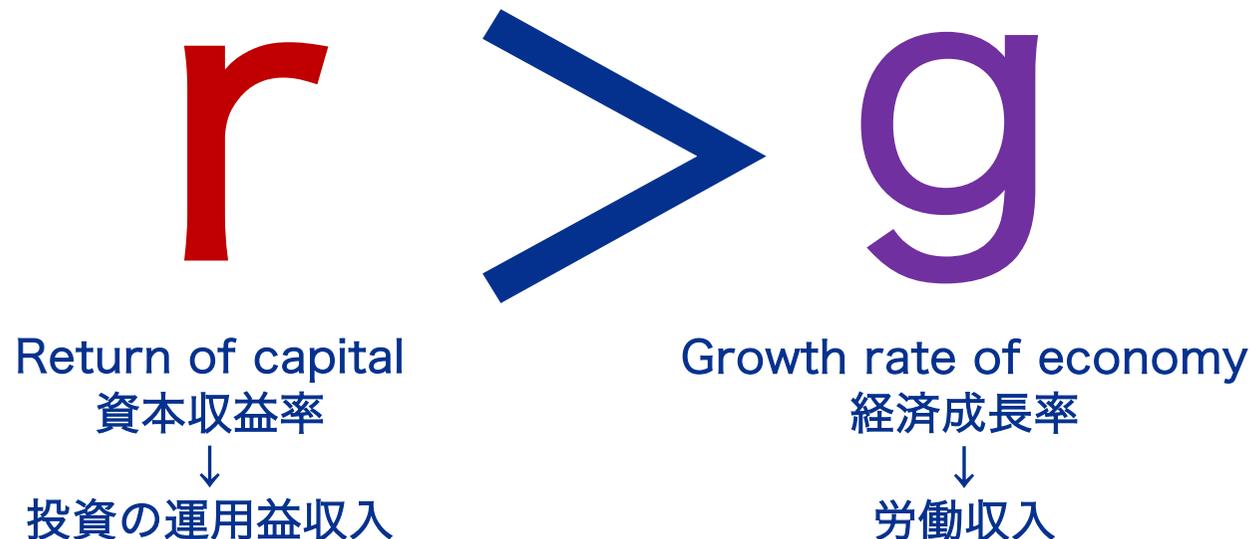


SDGs、ESG (誰ひとり取り残さない社会を目指すコンセプト群)

データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

資本主義システムからの『信頼』の重要性

- 富の偏在による格差が自然と起こることによるシステムの限界
- アダム・スミスも人と人の共感を重視していた（但し、神の手を過信してしまっていた）
- 市場の失敗を乗り越えるための公共の介入には信頼の裏付けが有効



『21世紀の資本』 Thomas piketty 2014

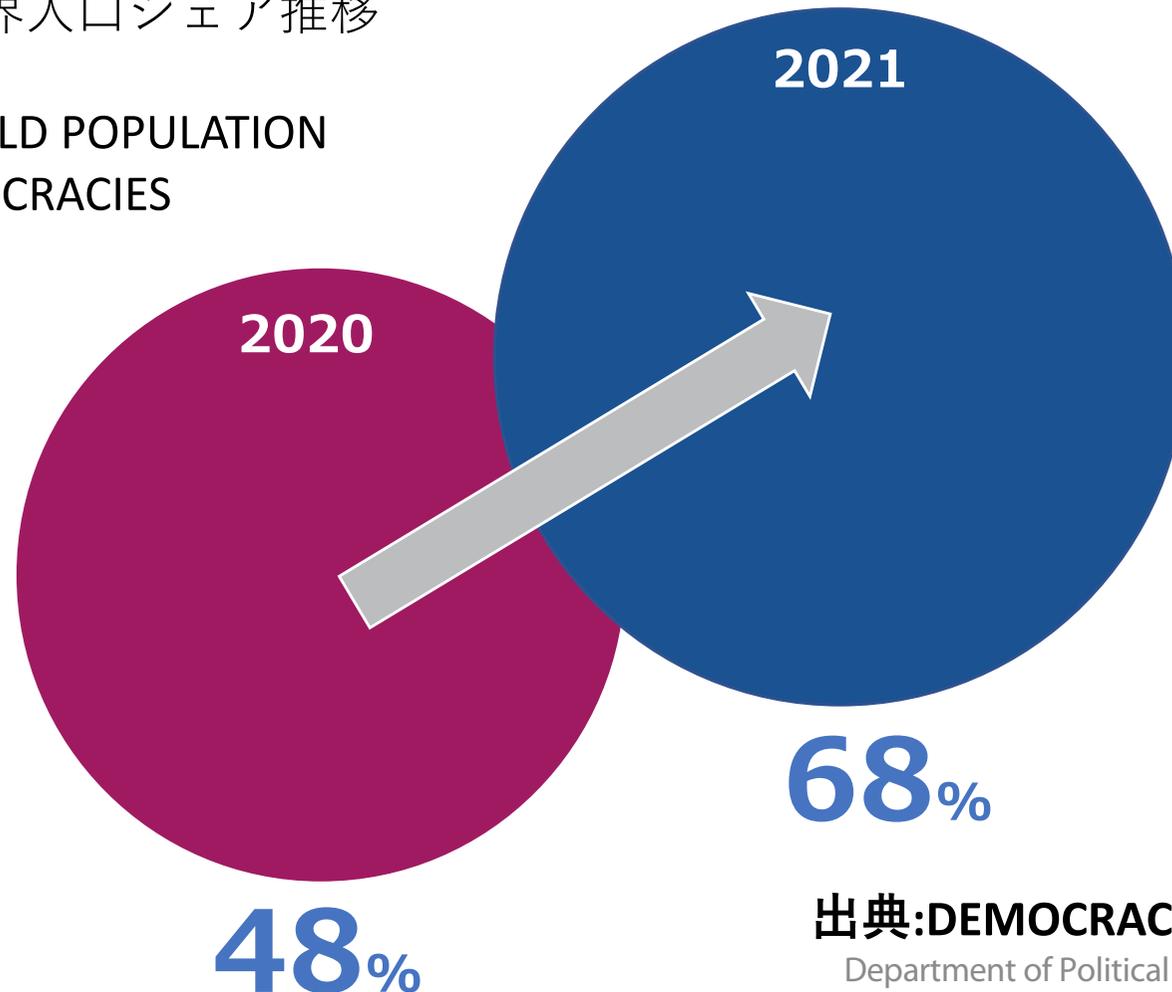
経済成長率が下がると格差が広がり、社会が不安定に、
不安定状態を回避する調整システム/コミュニケーションによる信頼構築が必要。
しかし、対応できる方法はない

データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由 国際情勢における『信頼』の重要性

- 専制体制の社会、そこに暮らす人が世界全体では増えている
- 専制体制は、民主制社会がうまく行っていないことを指摘して優位性を誇る

専制体制の世界人口シェア推移

SHARE OF WORLD POPULATION
LIVING IN AUTOCRACIES



出典:DEMOCRACY REPORT 2021

Department of Political Science
University of Gothenburg

<https://www.democracywithoutborders.org/>

データやファクトに基づく『信頼』が重要で必要である理由

『信頼』は3種類、最も重要なのは・・・

-信頼を規定する成分から考える

-最も有効なのは・・・

-SVSモデルによる信頼形成を実現できるUX、メディアはあるか？ -無いからつくる

【信頼を規定する要素】

1.能力認知

有能、専門技術、権威など
(スゴそう)

2.動機づけ認知

努力している、熱心だ、誠実さ

3.価値共有認知

同じ目線に立っている、気持ちを共有している
何を重視するか一致しているか
どのような結果を選好しているかが同じか

主要価値類似性(SVS: salient value similarity)モデル
(Earle & Cvetkovich, 1995)

『信頼』



2. 学習を通じた人の意思を形成する『ポリネコ!』

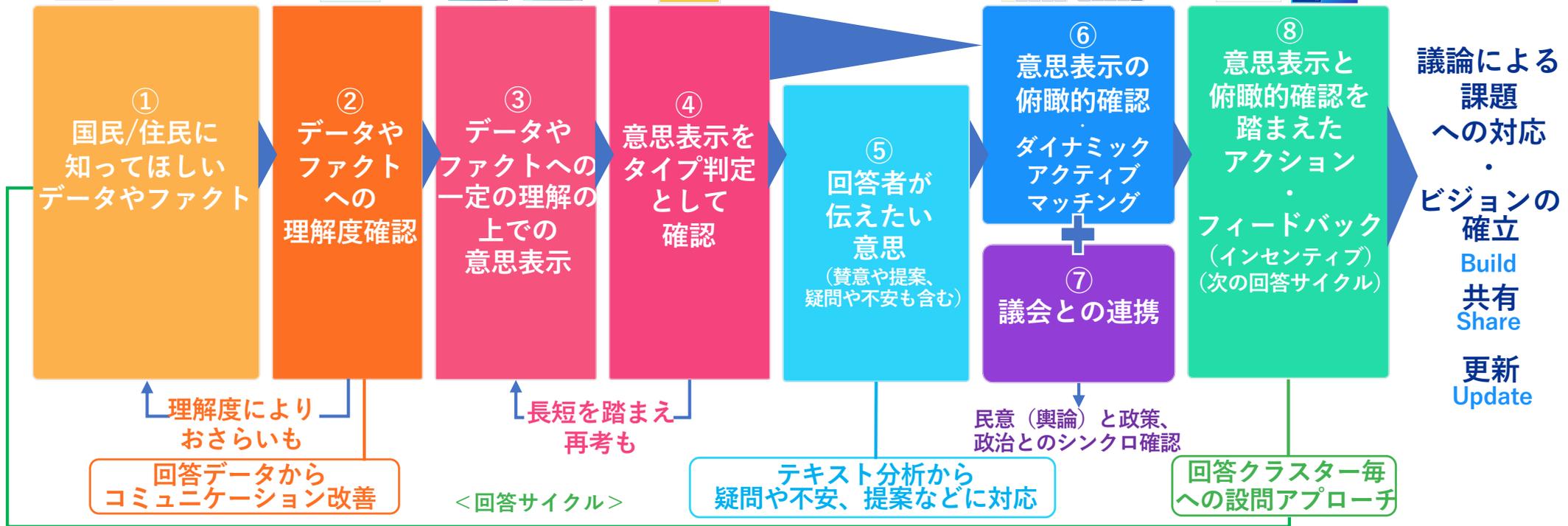


回答を通じてデータやファクトを
参照（知り、学ぶ）することで、
先入観や誤解を最小化した意思を表明し、
その意思を相互参照することで、
地域や社会、企業や学校などのコミュニティにとっての
最適解、納得解を『信頼/TRUST』に基づく形で
構築できる特許技術による
新しいコミュニケーションの仕組みです。

の基本構成

共通のデータやファクトを踏まえた意思表示で、相互理解、合意形成が可能になります。

- ・さまざまな人々からの意見は、前提となる知識の差異や、先入観、誤解によって建設的な議論とならず現在のSNSに見られるように、暴力的なノイズとなってしまいがちです。
- ・『ポリネコ!』は、データやファクトといったエビデンスを知り、学び、確認できる機能（特許申請技術）によって一定の理解の上での意思表示を可能にします。
- ・そして、この意思を互いに（参加者同士、有識者、議会議員など）示し合いシンクロ状態を確認することで、お互いにとっての最適解、納得解を見出すことが可能となります。（特許技術）



実在性が担保された匿名回答 (性別、年代、居住エリア、回答履歴)

・DX = 個を起点とする社会へのシフト

住民との「接続」 = コミュニケーション 相互理解 双方向型

デジタル化、DXとは買い物や手続きが簡単、便利、早くなることだと思われていますが、それらは90年代のIT革命の焼き直しに過ぎません。データに人が従属させられるリスクにも無防備な認識です。

DXの本質は、社会の隅々へのICTの浸透によって、個を基点とした環境構築が行えること、手間のかかる**作業の最小化**によって私達人間が思考と新しい**チャレンジを行う余裕を最大化**することにあります。

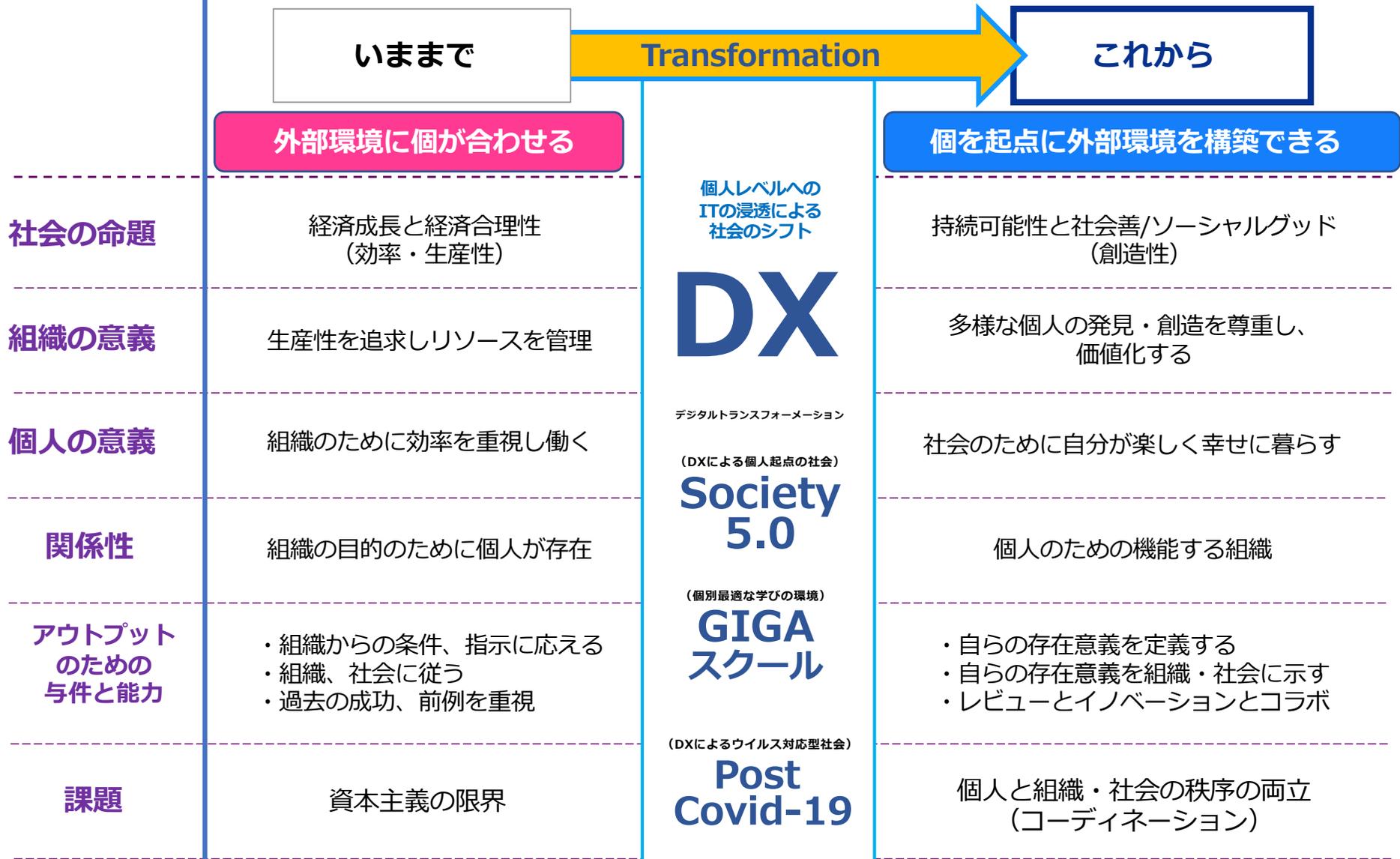
住民と継続的に繋がり、データも援用しつつ、住民サービスの質の向上、地域の持続性の向上で還元することが、自治体DXの本来の形です。

自治体DXを実現するために不可欠な住民とのつながりを構築すること、つまり、**コミュニケーションのDX**を実現する仕組みと方法が、

『ポリネコ！』  です。

DXの本質-個を起点に全体を構築する

-協調関係の構築から、訊くことを気軽にできるように



・DX = これからの地域に必要なコミュニケーション



従来型の
コミュニケーション

- ・ 一方通行
- ・ フィードバックがない
- ・ あまり楽しくない
- ・ インセンティブがない
- ・ ビジョン構築につながらない
- ・ 伝わっているか判らない
- ・ データやファクト確認は面倒
- ・ 知識の差を埋められない
- ・ 他の人と協調できない
- ・ 信頼を構築できない
- ・ 政策過程につながらない
- ・ 社会参画につながらない

いままで通りで、
徐々に弱まる地域と社会



従来型の弱点を補い克服する
DX対応型コミュニケーション

- ・ 双方向
- ・ フィードバックがある
- ・ ちょっと楽しい
- ・ インセンティブがある
- ・ ビジョン構築につながる
- ・ 伝わっているか判る
- ・ データやファクト確認は楽々簡単
- ・ 知識の差を埋められる
- ・ 協調できる
- ・ 信頼を構築できる
- ・ 政策過程につながる
- ・ 社会参画につながる

未来に向けて挑戦し
持続性を高める社会

or

登録の流れ

新規登録/ログイン



CHIKUMA Polineco! 仮リネコ!

ログインフォーム

ログイン

ユーザーID

パスワード

ログイン

はじめて利用される方は、新規登録をお願いします。

新規登録はこちらから

パスワードを忘れた方

パスワードを忘れた方はこちらから

CHIKUMA Polineco! 仮リネコ!

- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー □

自分のメールを登録



CHIKUMA Polineco! 仮リネコ!

仮登録フォーム

仮登録

Takashi.hammer.bird@gmail.com

Citycouncilmember2

sample001

※案内に記載のコードをお持ちの方はご入力ください。

会員登録には、[利用規約](#)と[プライバシーポリシー](#)に同意が必要です。

同意して登録する

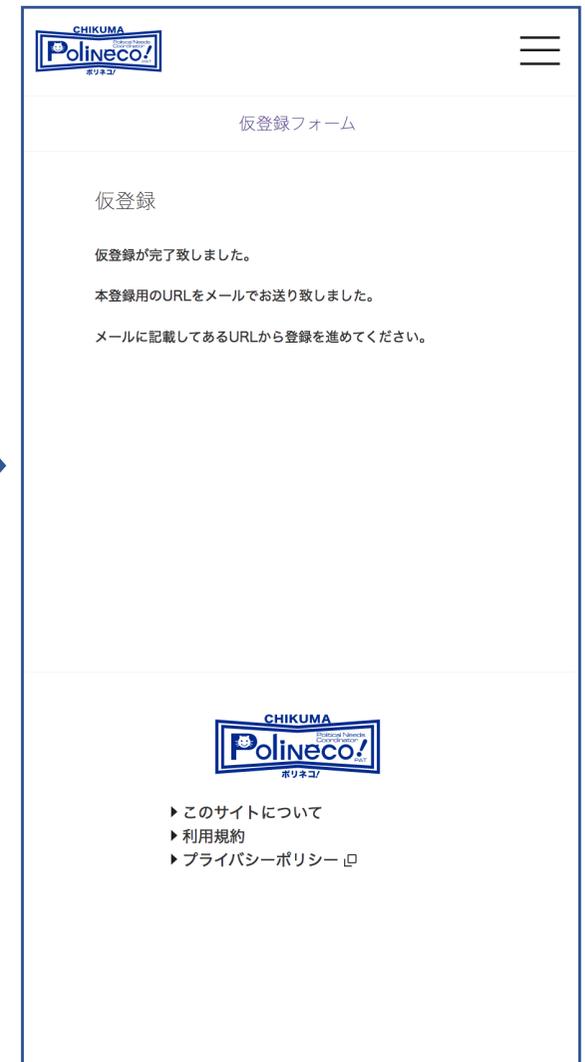
すでにアカウントをお持ちの方はこちらからログイン

ログイン

CHIKUMA Polineco! 仮リネコ!

- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー □

仮登録完了-メールを発信



CHIKUMA Polineco! 仮リネコ!

仮登録フォーム

仮登録

仮登録が完了致しました。

本登録用のURLをメールでお送り致しました。

メールに記載してあるURLから登録を進めてください。

CHIKUMA Polineco! 仮リネコ!

- ▶ このサイトについて
- ▶ 利用規約
- ▶ プライバシーポリシー □

登録の流れ

リンクから本登録画面へ



「ポリネコ!-CHIKUMA」本登録のご案内 ▶ 受信トレイ ✕

info@polineco.com 2:51 (0 分前) ☆ ↶ ⋮
To Takashi.hammer.bird ▼

「ポリネコ!-CHIKUMA」への仮登録が完了しました。
現時点で、参加登録は完了していません。
以下のURLにアクセスして、ログインID・パスワードを設定して本登録を完了してください。

<https://form-idearecord.devel08.inr.eigyo.co.jp/home/regist.html?key=VGFrYXNoaS5oYW1tZXluYmlyZEBnbWFpbC5jb20sMjg0MTAz>

※ このメールは、登録メールアドレス宛てに自動的に送信されています。
※ このメールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
ご返信いただいてもお答えすることができませんので、ご了承ください。

=====

千曲市の新しい住民参加型システム
「ポリネコ! CHIKUMA」
事務局
千曲市役所 行政マネジメント室
長野県千曲市杭瀬下2丁目1

=====

本登録画面入力



議員専用登録フォーム

必要情報の入力

メールアドレス
Takashi.hammer.bird@gmail.com

ユーザID (6文字以上の半角英数字) **必須**
[入力欄]

※任意の文字列で設定してください。
※記号は利用できません。

パスワード (8文字以上の半角英数字) **必須**
[入力欄]

※パスワードは英字、数字をそれぞれ1文字以上を組み合わせるものを入力してください

パスワード (確認) **必須**
[入力欄]

※確認のために、同じパスワードを入力してください。

名前 (漢字) **必須**
例: 政治 太郎

なまえ (ひらがな) **必須**
例: せいじ たらう

生年月日 **必須**
西暦 月 日

お住まいの住所 **必須**
郵便番号 (半角数字で入力してください)
[入力欄]

都道府県
選択してください

市区町村
例: ○○市○○区

町域・番地
例: ○○町1-1

建物名など
例: ○○マンション101号室

性別 **必須**
 男性 女性 指定なし

職業 **必須**
選択してください

ホームページURL
https://

所属 **必須**
所属政党 所属党派

予備のメールアドレス
例: mail@sample.com

※事務所のメールアドレスなど、個人のメール以外にポリネコ!からの通知が届くと便利なメールアドレスがあれば、任意でご登録いただけます。

プロフィール
[入力欄]

内容を確認する

登録の流れ

本登録完了メール



「ポリネコ!-CHIKUMA」本登録が完了しました。
 受信トレイ x

info@polineco.com 2:57 (5 時間前) ☆ ↶ ⋮
 To Takashi.hammer.bird ▾

「ポリネコ!-CHIKUMA」への本登録が完了しました。
 下記情報は、大切に保管してください。

メールアドレス: Takashi.hammer.bird@gmail.com
 ユーザーID: Citycouncilmember2
 パスワード: ご登録時に入力頂いたパスワード
 名前(漢字): 千曲花子
 なまえ(ひらがな): ちくまはなこ
 生年月日: 1976/01/01
 お住いの住所:
 〒3878511
 長野県千曲市
 大字杭瀬下

* このメールは、登録メールアドレス宛てに自動的に送信されています。
 * このメールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
 ご返信いただいてもお答えすることができませんので、ご了承ください。

=====

千曲市の新しい住民参加型システム
 「ポリネコ! CHIKUMA」
 事務局
 千曲市役所 行政マネジメント室
 長野県千曲市杭瀬下2丁目1

=====




ポリネコ マイページ 千曲花子 様



未回答

みんなで考える
千曲市の
『防災 2022』

2022/11/17 ~ 2022/11/22
 千曲市防災_2022

登録情報の確認/変更

退会する



▶ このサイトについて
 ▶ 利用規約
 ▶ プライバシーポリシー

たとえば

・ 防災の場合 - 従来型のコミュニケーション

行政視点

コミュニケーションを重視できない構造の常態化

- ・ 広報誌や掲示板、サイトに防災情報は掲載しているが、住民にどの程度、届いているか**判らない**
- ・ 住民の認知や理解の程度に基づいたコミュニケーションを**企画、策定できない**
- ・ 個々人や地域毎の事情の把握が**困難**で、対策を**講じにくい**
- ・ 防災訓練やワークショップなど**参加機会に限度がある**
- ・ 現状把握ができないため、**目標設定が曖昧になる**

住民視点

自分が回答などの形で参画しても、地域が変わると思えない先入観

- ・ 何を知っておけばいいか**判らない**
- ・ 自分の困りごとや心配を伝える**方法がない**
- ・ まわりの人々の意見を知る**機会がない**

行政と市民が
連携した
防災体制の構築、
課題解決と改善が
困難

この状況を乗り越える





CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

はじめに



みんなで考える
千曲市の
『防災 2022』

災害は必ず起こります。
起こることを前提に、災害に強い千曲市を一緒につくりましょう。
まずは、回答参加から。
*回答は、統計データとして処理を行います。
回答者個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはありません。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

設問について

○ 正解

× 残念

千曲市に暮らす皆さんに知っていただきたい災害関連知識を学習型クイズにしました。

回答すると（正解）（残念）の表示、次に（正解）が判る参考情報が表示されます。

回答して、災害マスターを目指してください。

次のステップへ

CHIKUMA Polineco!

千曲市防災_2022

Q1

1949年からの観測史上千曲川が大雨で増水した時の最高水位は、約何メートルでしょうか？

3.5メートル

5.3メートル

9.9メートル

12.4メートル

18.2メートル

回答して参考情報をチェック



Q1 参考情報 (1/2)

最高水位
12.46m

2019/12/12 6:40

水位 (m)

時間 (h)

観測史上最高水位

平常水位

0.27m

2019年の台風19号による豪雨によって、千曲川の水位は、12.46mまで、上昇しました。そして、その水位上昇のスピードは、(つづく→)

次のステップへ

Q1 参考情報 (2/2)

雨と水位は時間差で来る
**10時間で
10m上昇!**

雨量 (mm)

時間 (h)

10mm

10m

10時間

わずか10時間で10m上昇するという驚異的なスピードでした。雨量と水位は同時に増えず、時間差があります。

戻る

次のステップへ

CHIKUMA Polineco!

千曲市防災_2022

Q2

あなたはいま、ペットと暮らしています。大きな地震のため避難所に避難しなければなりません。しかし、ペット（犬）がいます。一緒に犬を避難所に連れて行っていいでしょうか？

ペットは禁止

ペットは連れて行ける

ペットは連れて行けるが普段から準備することが望ましい

ペットは基本禁止、だが事前登録で許可されることもある

回答して参考情報をチェック



Q2 参考情報 (1/2)

ペットの避難所への同行は、
基本 **OK!**

ペットも大切な家族であり地域の一員です。避難所には、ペットも一緒に避難しましょう。

でも、ペットへのアレルギーを持つ他の避難者の方々とも共存できることが大切です。そのために（つづく→）

次のステップへ

Q2 参考情報 (2/2)

環境省発行の手引き書

日頃からの準備が、必要です。環境省からは、ガイドブックが発行されています。ペットを大切にされる方は、必ず、読んでください。こちらから→ガイドブック（環境省のページが新規タブで開きます。）

戻る

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q3

あなたはいま、避難所の運営担当者です。
その避難所に600人が避難しています。しかし、避難所に届いたおにぎりは、400人分だけです。このおにぎりは配るべきと思いますか？

配るべきではない

配るべき

工夫して配るべき

回答して参考情報をチェック



Q3 参考情報

工夫して配ろう！
時間を待つと、体力低下
おにぎりも腐るよ



阪神淡路大震災では、公平性を重視しすぎ、追加分が来るまで配給を止めて、目の前にあるおにぎりが食べられない事態になったことがありました。1つを2つに分けるなどの工夫をして、体力低下を防ぐことがとても重要です。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q4

災害用伝言ダイヤルは、災害発生時に基本無料で使える伝言録音と共有の仕組みです。お互いの電話番号を知っていれば、30秒のメッセージを最大20件送れます。

災害用伝言ダイヤルの番号は、以下のどれでしょうか？

119

777

717

171

110

回答して参考情報をチェック



Q4 参考情報

災害用伝言ダイヤル 171

ご利用イメージ

災害時には、電話が不通になったり、携帯電話の電池が切れてしまい、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。

そうした時に【171】が役立ちます。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q5

では、この災害用伝言ダイヤル171を利用できるのは、どのような時でしょうか？

- 災害時のみ
- 災害時と毎月1回の練習日
- 災害時と毎月2回の練習日とお正月と防災週間

回答して参考情報をチェック



Q5 参考情報

毎月1日,15日
正月三が日
防災週間
(8月30日9:00~9月5日17:00)
防災とボランティア週間
(1月15日9:00~1月21日17:00)

171を練習する機会が
頻繁に設けられています。

遊び感覚でも試してみると
いざという時に安心です。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q6

東日本大震災以降、災害への心構えとして広まった、「津波てんでんこ」という言葉の「てんでんこ」とは、どういう意味でしょうか？

どんどん

それぞれ、各自で

あっちこっち

むちゃくちゃ、ひっくり返る

回答して参考情報をチェック



Q6 参考情報

てんでんこ

↓

それぞれ
各自で

「てんでんこ」とは、
"それぞれ、各自で"
という意味です。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q7

「津波てんでんこ」の意味として正しいものをすべて選択してください。
(複数選択可)

自分の命は自分で守る

誰かの言うことに従う

まわりの人のことも考える

相互信頼が重要

最善を尽くしてもうまく行かない事がある

回答して参考情報をチェック



Q7 参考情報

- ・自分の命は自分で守る
- ・他者避難の促進
- ・相互信頼の事前醸成
- ・生存者の自責感の低減

「津波てんでんこ」の最も重要なことは、その場その場で、自分の頭で考えることです。重要な4つの要素は上記のようにまとめられています。

次のステップへ




千曲市防災_2022

Q8

屋代（1-3区）・森東・森西・寂巻・
 鑄物師屋、内沢・小島・桜堂・杭瀬下・
 新田・中・小船山の【おおむね100年に1
 回程度発生する降雨に対応する浸水想定】
 への災害リスクとして当てはまるものを
 すべて選んでください。
 （複数選択可）

最大浸水深さ5m以上の区域がある

最大浸水深さ2m以上の区域が最も多い

最大浸水深さ0.5m以上の区域が最も多い

土砂災害特別警戒の区域がある

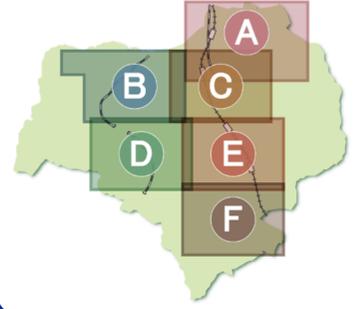
浸水警戒、土砂災害警戒区域の対象外

回答して参考情報をチェック



Q8 参考情報 (1/2)

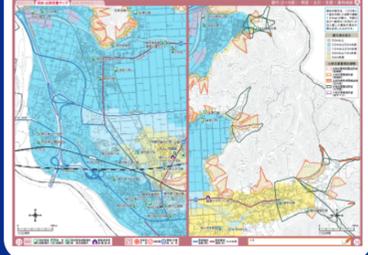
千曲市の防災エリアA~F



屋代（1-3区）・森東・森西・寂巻・
 鑄物師屋、内沢・小島・桜堂・杭瀬下・
 新田・中・小船山は、千曲市全体の中
 で、【C】エリアとして指定されていま
 す。
 【C】エリアの計画降雨【おおむね100
 年に1回程度発生する降雨に対応する
 浸水想定】（平成26年3月作成）は、
 ハザードマップで、（つづく→）

Q8 参考情報 (2/2)

防災エリアC ハザードマップ



下図のように表されています。
 ほとんどの区域が、
 ・最大浸水深さ2m以上のリスク
 ・一部には最大浸水5mのリスク
 ・山に近い区域には土砂災害リスク
 があります。

戻る

次のステップへ

CHIKUMA Polineco!
千曲市防災_2022

Q9

災害発生時、あなたがお住いや場所の安全確保が困難になった際の避難場所として、間違っているのは、次のどれでしょうか？

避難先を決めていない、知らないこと

知人、親戚の家

最寄りの避難所

ホテル（安全な場所にある）

上記以外の決めている場所があること

回答して参考情報をチェック



Q9 参考情報

避難場所は、だれかと共有することが重要です。

避難所だけが、避難場所ではありません。
災害リスクのない安全な場所に移動ができれば、そこが、あなたの避難所になります。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q10

災害発生時の考え方として、
間違っ**たもの**
を、1つ選んでください。

防災訓練の通り行動する

想定にとらわれず考える

どんな場合も最善を尽くす

自分の頭で考える

回答して参考情報をチェック



Q10 参考情報

災害は、人間の都合に
合わせてくれません。
**常に、考えることが、
求められます。**

訓練でやったことのすべてが
正解にならないのが自然災害です。
この大前提から、防災訓練など
習慣や先入観にとらわれると
判断を誤る場合があります。

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco
ポリネコ

千曲市防災_2022

ここまでの正答率スコア

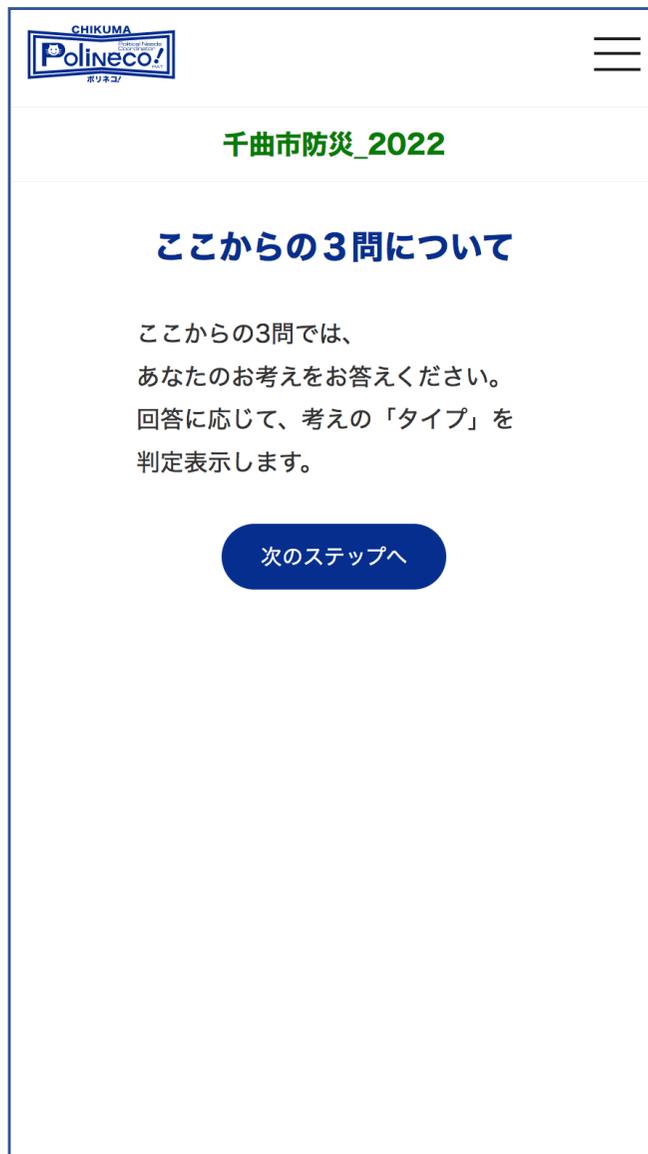
100
Level

テーマ「千曲市の防災2022」へのあなたの理解度は、レベル100です。
(レベルの最高値は100です。)
次の設問からは正解のない、あなたのお考えを回答していただく設問です。

次のステップへ

おさらい (再回答) をする

- ・ 正誤に応じた再回答（おさらい）
- ・ 誤解、認知不足がどこにあるかの把握
- ・ 理解度ごとの回答者クラスター
- ・ 回答クラスターごとの回答傾向把握
- ・ 傾向に応じた追加設問の設定



The screenshot shows a mobile application interface for a survey. At the top left is the logo for 'CHIKUMA Polineco' (千曲市). Below the logo is the title '千曲市防災_2022'. The main question is 'Q11' and asks for the preferred disaster response method. There are four radio button options: '千曲市役所が主体となって行う', '千曲市役所と住民と一緒に協働して行う', '住民が主体となって行う', and '上記以外の方法で行う'. A blue button at the bottom says '次のステップへ'.

CHIKUMA
Polineco
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q11

あなたは、千曲市における防災と災害への対応は、市役所と住民が、どのような関わりで行うことが最も望ましいと、考えますか？

千曲市役所が主体となって行う

千曲市役所と住民と一緒に協働して行う

住民が主体となって行う

上記以外の方法で行う

次のステップへ

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q12

あなたは、千曲市役所と住民が一緒に協働して行う、防災と災害への対応に、サポーターとして参加しますか？
このような回答参加もサポーターとしての参加です。

サポーターとして参加する

サポーターとして参加しない

戻る 次のステップへ

CHIKUMA
Polineco
ポリネコ

千曲市防災_2022

Q13

防災や災害対応に関する心配ごとや、判らないこと、市役所に伝えたいこと等があればお聞かせください。

回答いただくだけでも、千曲市の防災をサポートすることに繋がっています。

(*特にない場合は、そのまま次のタイプ判定画面に進めます。)

戻る [タイプ判定画面へ](#)

回答を通じて、意思表示する

千曲市防災_2022

あなたの考え(タイプ)は…

type-E

スーパー 防災マスター



100

コメントを書く

★ ポジティブ面からの解説

🗨️ ネガティブ面からの解説

回答状況を俯瞰する

< 回答をやり直す

★ ポジティブ面からの解説

千曲市役所と住民が連携できれば最も理想的な防災対応を実現できます。
市役所は全体の計画をつくり実行することが得意ですが、一人ひとりの事情や地域の細かい情報を把握はどちらかという苦手です。
一方、住民は全体の計画はできませんが、自分やまわりの事情をよく知っていますし、地域の細かい事情も知っています。この両者が連携することで、大きな災害があっても綿密かつ力強い防災対応を普段から構築することができます。

🗨️ ネガティブ面からの解説

回答状況を俯瞰する

< 回答をやり直す

ステップ 3
つながる

他の回答者とつながる/俯瞰する

ステップ 4
俯瞰する

千曲市防災_2022

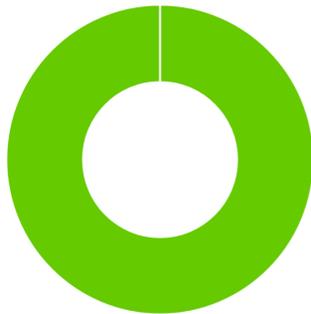
👁️ 回答状況を俯瞰する

ご回答いただきありがとうございます。ここからは、回答をさまざまな角度で確認していただけます。

アクション一覧からは、自分のタイプをSNSにシェアすることもできます。

全体のタイプ分布

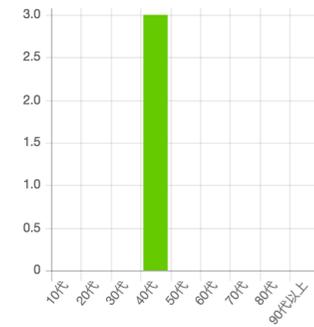
回答者数 1人



- 行政主体で防災対応しよう！
- 防災マスター
- 住民主体で防災対応しよう！
- 住民主体で防災対応してね。
- 行政主体で防災対応してね。
- 別のやり方で防災対応
- サポートするけど別のやり方
- スーパー防災マスター

世代別タイプ分布

回答者数 3人



- 行政主体で防災対応しよう！
- 防災マスター
- 住民主体で防災対応しよう！
- 住民主体で防災対応してね。
- 行政主体で防災対応してね。
- 別のやり方で防災対応
- サポートするけど別のやり方
- スーパー防災マスター

👥 議会・議員とのシンクロ

👁️ 回答状況を俯瞰する

👤 自分のタイプ

★ アクション一覧

ステップ 3
つながる

他の回答者とつながる/俯瞰する

ステップ 4
俯瞰する

千曲市防災_2022

👥 議会・議員とのシンクロ

あなたのタイプは…

 **スーパー防災マスター** 79

-  行政主体で防災対応しよう！
-  行政主体で防災対応してね。
-  スーパー防災マスター  防災マスター
-  住民主体で防災対応しよう！
-  住民主体で防災対応してね。
-  別のやり方で防災対応
-  サポートするけど別のやり方

シンクロレベル

B

市議会20名

75%以上の議員があなたと同じ考えのタイプです。
〈議員の回答を読む〉から一人ひとりの回答とコメントを確認できます。

-  議会・議員とのシンクロ
-  回答状況を俯瞰する
-  自分のタイプ
-  アクション一覧

ステップ 3
つながる

他の回答者とつながる/行動する

ステップ 5
行動する




千曲市防災_2022

👥 議会・議員とのシンクロ

タイプ別

五十音順プロフィール

あなたのタイプは…



スーパー防災マスター

15人



ちくま いちろう
千曲 一郎

[ホームページ](#) 📄

🔍 コメントを読む

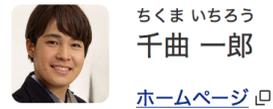


ちくま じろう
千曲 次郎

[ホームページ](#) 📄

🔍 コメントを読む

議員のコメントを読む



千曲市は、たびたび洪水災害に見舞われています。

地球温暖化の影響と言われていますが100年に一同、観測史上初といった、私達が経験していない台風や雨量が発生し、今後も発生し続けることが予想されます。

今後の千曲市の防災は、いつか必ず発生する災害を見据えたものでなければなりません。

閉じる

メッセージを送る



行政主体で防災対応しよう！

0人



行政主体で防災対応してね。

0人



防災マスター

5人



住民主体で防災対応しよう！

0人



住民主体で防災対応してね。

0人



別のやり方で防災対応

0人



サポートするけど別のやり方

CHIKUMA
Polineco!
ポリネコ

マイペー

千曲市防災_2022

議員の回答を読む

タイプ別 五十音順プロフィール

あ か さ た な は >

た行

ちくま いちろう
千曲 一郎
ホームページ

プロフィールを読む

議員のプロフィール

ちくま いちろう
千曲 一郎
ホームページ

長野県千曲市出身
総務文教常任委員会所属

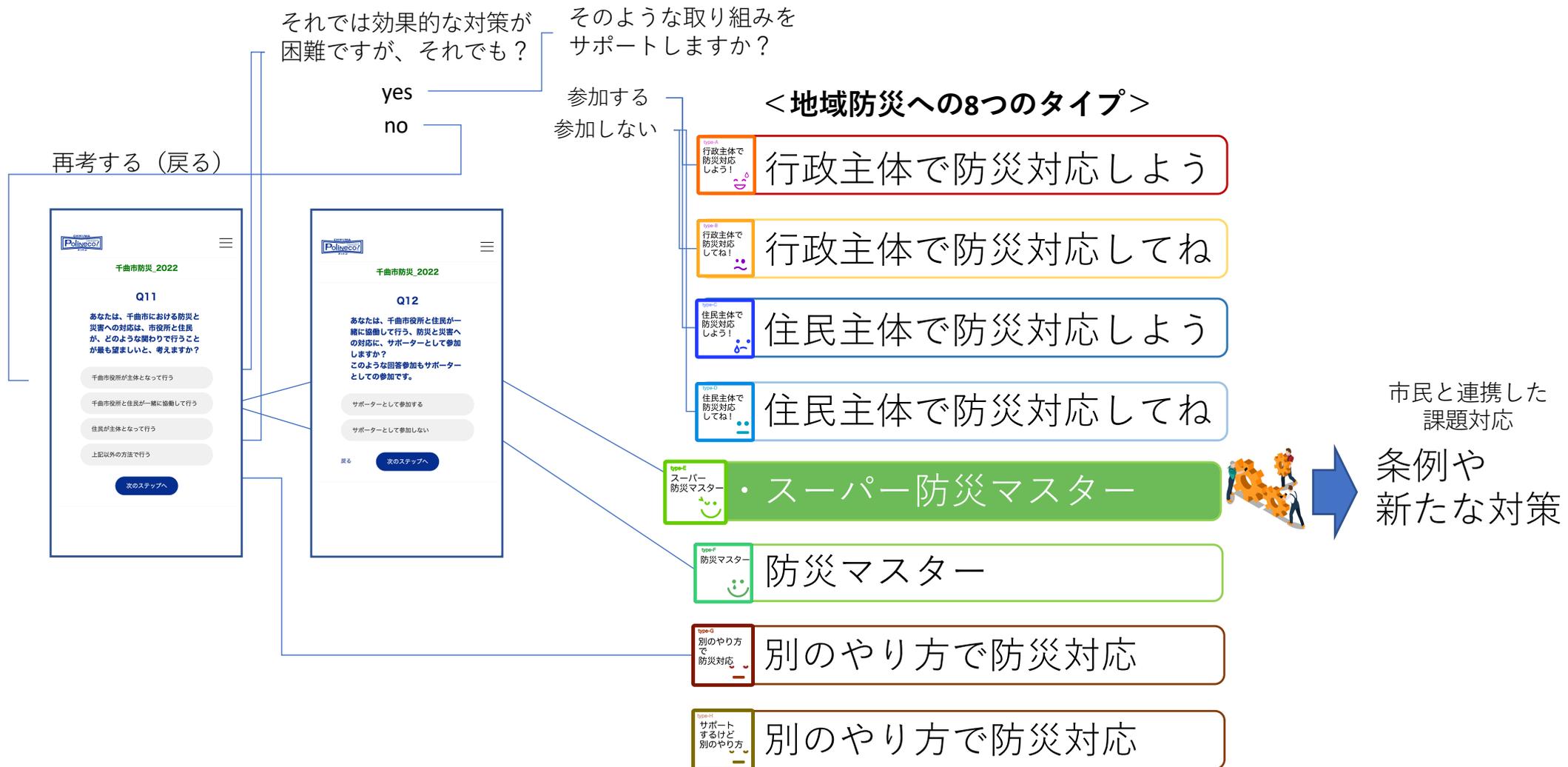
民間での経験をもとに千曲市の地域経営をより
活力のある、市民起点のものにしたいと考え、
市民の皆様からの信託をいただき、議員を務め
ています。

閉じる

The screenshot shows the 'Polineco!' website interface for Chikuma City. At the top left is the 'CHIKUMA Polineco!' logo, and at the top right is a user profile icon labeled 'マイペー'. The main heading is '千曲市防災_2022'. Below it is a star icon followed by 'アクション一覧'. A central grey box contains three items: a bell icon for '無回答の議員に回答をリクエスト', a pencil icon for '設問テーマの提案/困りごとの投稿', and a left arrow for 'マイページ戻る'. Below this box are four colored buttons: a purple button for '議会・議員とのシンクロ', a green button for '回答状況を俯瞰する', a pink button for '自分のタイプ', and a yellow button for 'アクション一覧'.

基本インターフェース補足 タイプ判定ロジック構造

- ・ 防災、災害対応に対し、市民と市役所が協働するという自明のことであっても回答を通じて意思を確認し、自分以外の人々と同じ意思を確認することが地域に「信頼/TRUST」を生みます。
- ・ 回答参加で得られた意思、意見、データをもとに、新たな対策、条例などを効果的に講じることができるようになります。



回答集計から始まる、次の対話サイクル

・回答クラスターごとの追加質問が可能



行政主体、住民主体など
市役所と住民の連携を望まない
回答を行った回答者に
追加質問を行い、より深い考えを
聞くことができます。

・回答データを施策に反映し、その成果を「ポリネコ! CHIKUMA」で確認、施策を改善



・ 防災の場合 - DX対応型のコミュニケーション

行政視点

コミュニケーションを重視できない構造からの脱却

- ・ 住民にどの程度、届いているか判る
- ・ 住民の認知や理解の程度に基づいたコミュニケーションを企画、策定できるようになる
- ・ 個々人や地域毎の事情の把握が可能となり、対策を講じることがしやすくなる
- ・ 参加機会にほとんど限度がなくなる
- ・ 現状把握ができるため、目標設定が明確になる

住民視点

自分が回答などの形で参画しても、地域が変わると思えない先入観

- ・ 何を知っておけばいいか判る
- ・ 自分の困りごとや心配を伝える方法がいつもある
- ・ まわりの人々の意見を知る機会がある



ポリネコ!

行政と市民が
連携した
防災体制の構築、
課題解決と改善が
可能に

いちき串木野市が目指す地域像を新しい住民参画で実現

住民との「双方向接続」でビジョンが具体化

-ほとんどの市民が市政と「接続」できることで、課題解決に向けた信頼構築が実現します。

いちき串木野市様の新しい地域ビジョン
住民参画による「信頼/TRUST」構築を組み込んだ

いちき串木野市様の目指す地域像

未来に繋がる場所=いちき串木野

- ・ 住み続けられるまち
- ・ 子どもの未来を育むまち
- ・ 自慢できるまち

「2040年のまちを考える会」



住民の
スタンス

知ってる！
判る、学べる
関わっている



双方向接続 コミュニケーション 約26,500人



地方財政処置への
国からの
申し入れ

- ・ 「防災・減災対策及び国土強靱化の推進」
- ・ 「地方分権改革の推進及び財政の健全化」
- ・ 「国・地方公共団体間の財政秩序の確立」
- ・ 「新型コロナウイルス感染症の克服等に向けた取組の推進」
- ・ 「デジタル・ガバメントの確立等に向けた取組の推進」
- ・ (マイナンバー制度の活用、行政手続のオンライン化、地方公共団体の情報システムの標準化)
- ・ 「公共施設等の適正管理の推進」
- ・ (個別施設計画に基づく老朽化対策等)

新しい発想ができる市政・市民のための市政
戦略的に迅速に変化に対応できる市政

2020年代的課題

- 対感染症
- 対災害
- DX対応
- SDGs対応

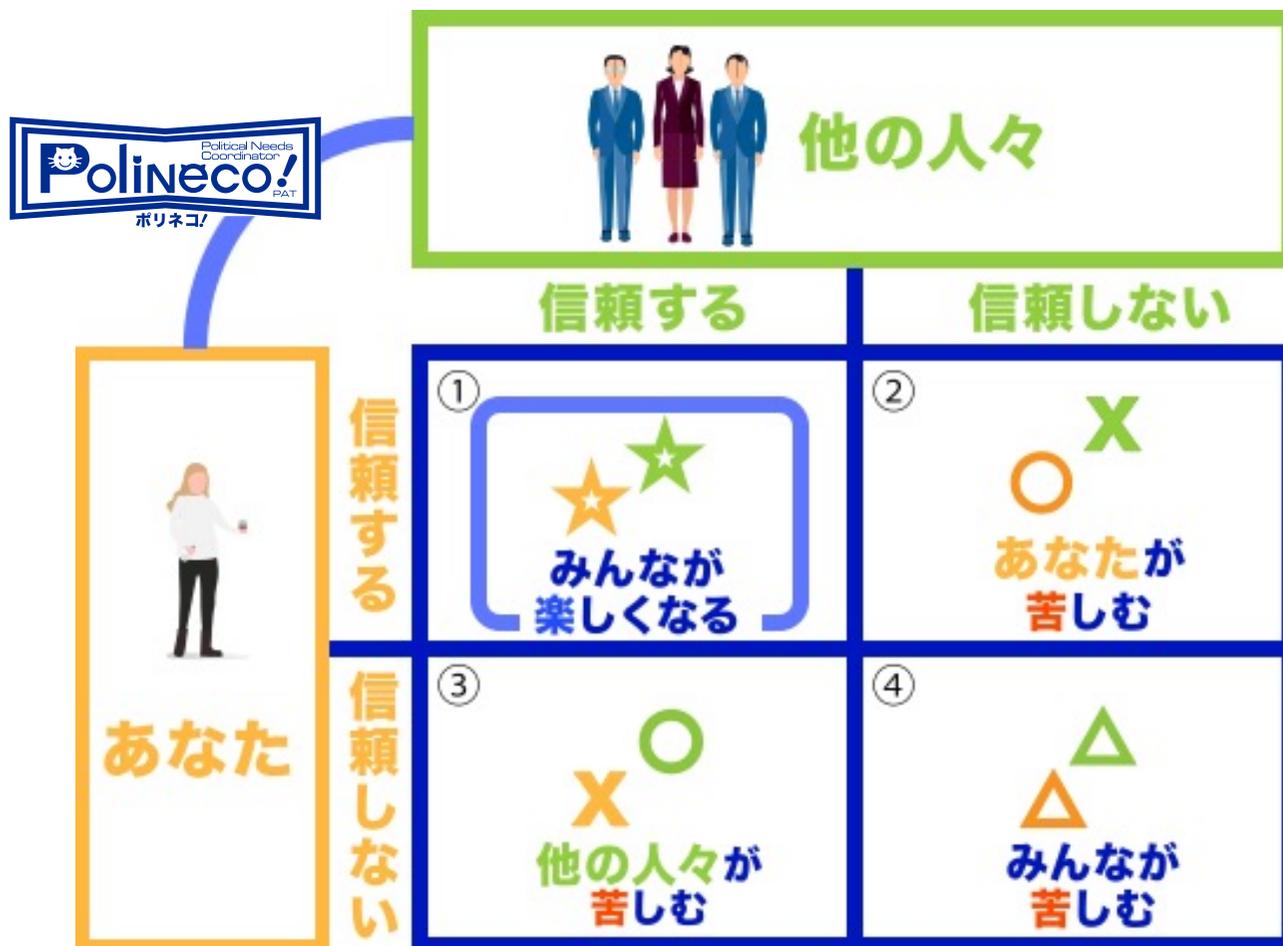
戦略的課題への対応



『信頼』を構築できる構造

- 協調のための手段、お互いの考えを知る方法がある
- お互いが損をしないために、合理的に①を選択する

・ 囚人のジレンマ図



①：協調して「最適解」を選ぶ

②③：正直者がバカを見る
：はしごを外される

④：「苦しくなること」を
合理的に選ぶ

きっかけとなり得る回答テーマ

- ▶ 子ども基本法
- ▶ 部活動の地域移行
- ▶ 総合計画の中間評価
- ▶ 2040年を考える会の市民への拡大展開
- ▶ 定住意向向上、地域経済の担い手育成

の特徴、他の手法との比較

ポリネコ!

- 『ポリネコ!』は人々との対話を通じて、【信頼/TRUST】に基づく共通目標の構築、課題解決を行えることに大きな特徴があります。(地域を挙げた議論、国民的議論を実現する唯一の方法です。)
- 広報・公聴、ワークショップをはじめ、他の手法と『ポリネコ!』は相互補完することができます。
- 政策分析に基づく設問設計も『ポリネコ!』は唯一対応します。Society5.0、SDGsなどに対応する人間中心、誰も取り残さず、持続する地域運営を推進します。

		広報・公聴 アンケート調査 ワークショップ				
1.学習機能	あり 前提知識がなくても 学んで参画できる	なし 前提知識がないまま 回答してしまう	なし 前提知識がないまま 回答してしまう	なし 前提知識がないまま 回答してしまう	なし 前提知識がないまま 回答してしまう	なし 前提知識がないまま 回答してしまう
2.フィードバック 双方向の	あり 回答後すぐに フィードバック	なし 基本的に一方通行	なし 基本的に一方通行	なし 基本的に一方通行	なし 基本的に一方通行	なし 基本的に一方通行
3.相互理解の設計	あり 共通の予備知識、自分以外の 回答(その背景)を参照できる	なし 認識の違いや 他の回答は見えない	なし 認識の違いは見えない	なし 認識の違いは見えない	なし 認識の違いは見えない	なし 認識の違いは見えない
4.議会/議員と対等に	つながる 議員と一緒に考えられる	つながらない 飽くまで参考情報	つながらない 飽くまで参考情報	つながらない 飽くまで参考情報	つながらない 意見を上程する	つながらない 飽くまで参考情報
5.連続性/継続性 主権者としての	あり 自分の回答履歴を 参照できる	なし 基本的にその時限り	なし 基本的にその時限り	なし 基本的にその時限り	なし 基本的にその時限り	なし 基本的にその時限り
6.輿論の意思表示	できる 学習を通じた熟慮を 経た意思表示	できない 世論≒感情としての 意思表示	ある程度 回答者の主観による 意思表示	ある程度 回答者の主観による 意思表示	ある程度 回答者の主観による 意思表示	ある程度 回答者の主観による 意思表示
7.関係住民対応	あり 市外の関係者の参加が可能	なし 住民票の登録者が 基本的な対象	なし 特に設定されていない	なし 特に設定されていない	なし 特に設定されていない	なし 特に設定されていない
8.参加のハードル	ひくい 選択式で気軽に参加	ひくい 選択式で気軽に参加	たかい 文章の記入が前提	たかい 文章の記入が前提	たかい 文章の記入が前提	たかい 文章の記入が前提
9.参加できるか いつでも、どこかでも	できる 時間と空間の制限なく 参画可能	ひくい 参加できるのはごく一部	できる 時間と空間の制限なく 参画可能	できる 時間と空間の制限なく 参画可能	できる 時間と空間の制限なく 参画可能	できる 時間と空間の制限なく 参画可能

*1.3.4.6は、特に
特許に基づく
の特徴
(申請中を含む)

大人数との対話を実現
(議会も含む)
信頼が育つ
共通目標・ビジョンを構築可能
次に繋がる成長する

対話が困難
信頼が育ちに
量を重ねても
次につながらない

意識の高い
意見を
集めやすい

意識の高い
意見を
集めやすい

意識の高い
意見を
集めやすい

意識の高い
意見を
集めやすい